

Vol.59

2023 9月-11月

2023 9/10 発行

TAKE FREE

Sinfonia

シンフォニア

〔指揮〕ミコラ・ジャジュラ

© 三浦興一

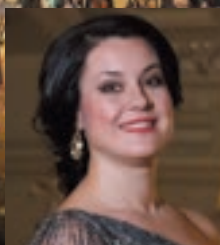
4年ぶりの
来日!

苦境を乗り越え、世界に癒しを届ける
ウクライナ国立フィルハーモニー交響楽団
(旧キエフ)

The Symphony Hall

ジルベスターコンサート
2023.12.31

ニューイヤーコンサート
2024.1.1



〔ソプラノ〕
テチアナ・ガニーナ



〔アルト〕
アンジェリーナ・シュゲツカ



〔テノール〕
ドミトロ・クズミン



〔バス〕
セルギイ・マゲラ

年末特集!

The Symphony Hall Big Band Vol.21 ーダンディズムー

ザ・シンフォニーホール クリスマスオルガンコンサート 2023

オールスター 紅白オペラ歌合戦 2023

The Symphony Hall Super Brass × THE SOULMATIC'S ゴスペル

ほか



超絶の
オペラ座の怪人



超絶の
スター・ウォーズ



超絶の
ボヘミアン
ラブソディ
QUEEN
ABBA

プロジェクションマッピング×パイプオルガン

超絶BEST

名曲連投!! 集大成がスゴすぎる!!

オペラ座の怪人★

美女と野獣

サウンド・オブ・ミュージック★

ボヘミアン・ラブソディ★

ダンシング・クイーン★

バック・トゥ・ザ・フューチャー★

インディー・ジョーンズより

「レイダース・マーチ」

スター・ウォーズ★

★プロジェクションマッピング付き
休憩なし。約60分間のコンサートです。

[オルガン] 大木 麻理

2024

1/27

先行予約:9/21(木) 一般発売:9/24(日)

15:00開演 [14:00開場]

(土) 3,000円(全席指定・税込)

ザ・シンフォニーホール

主催:ザ・シンフォニーホール

ご予約
お問合せ

■ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333(火曜定休) <https://www.symphonycity.jp>

■E+ (イープラス) <https://eplus.jp/symphonycity> (パソコン・携帯)

■チケットぴあ <https://w.pia.jp/t/symphonycity> [Pコード:249-254]

■ローソンチケット <https://l-tike.com/symphonycity> [Lコード:55467]

プレイ
ガイド

※4歳以上のお子様からご入場いただけます。

※やむを得ない事情により、出演者、曲目、曲順が変更になる場合がございます。

※公演中止・延期の場合を除いて、チケット代金の払い戻しは承りません。予めご了承下さい。



シンフォニア

www.symphonihall.jp

contents

Vol.59

2023.9-2023.11

2023.9.10 発行

- 2 前橋汀子 ヴァイオリン・スペシャル・コンサート 前橋汀子インタビュー
- 4 イム・ユンチャン ピアノ・リサイタル
- 6 横坂 源 チェロ・リサイタル -悪魔のロマンズ-
- 8 オルガン名曲決定版 2024 富田一樹インタビュー vol.1
- 10 珠玉のシネマ名曲集SELECTION Vol.8 ～モリコーネに思いをよせて～
荒 庸子 チェロ・リサイタル 2024
- 11 クラシック・キャラバン2023 華麗なるガラ・コンサート
- 12 ザ・シンフォニーホール クリスマスオルガンコンサート 2023
- 13 川井郁子 シンフォニックコンサート 2024 Passion in Blue ～情熱のヴァイオリン～
アロージャーズオーケストラ 第120回 定期演奏会
- 14 ジルベスターコンサート 2023・ニューイヤーコンサート 2024
- 16 The Symphony Hall Big Band vol.21 -ダンディズム-
- 18 The Symphony Hall 年末スペシャルコンサート
The Symphony Hall Super Brass×THE SOULMATICOS ゴスペル
- 20 オールスター 紅白オペラ歌合戦 2023
- 22 Best of Orchestra 2023 飯森範親×若き巨匠の新世界
- 23 世界の巨匠とともに2023
チェコ・フィルハーモニー管弦楽団
- 24 世界の巨匠とともに2023
大和証券グループ Presents NDRエルブフィルハーモニー管弦楽団 反田恭平インタビュー
- 26 上原彩子 ピアノ・リサイタル《オール・ラフマニノフ・プログラム》
- 27 Osaka Shion Wind Orchestra 第151回定期演奏会
- 28 古澤 巖×ベルリン・フィルハーモニック ストリングス ～愛のクリスマス2023～
- 29 仲道郁代 ショパンを弾く ～円熟と哀しみ～
- 30 「くるみ割り人形」プロジェクションマッピング×バレエ全幕
- 31 小味渕彦之「こみちゃんの温故知新」vol.5
- 32 関西4オケ Pick Up コンサート
- 34 ABCテレビ主催公演: イベント情報
- 38 日本センチュリー交響楽団
- 40 大阪市民管弦楽団 第97回定期演奏会
KREIS KOSMOS KONZERT VOL.30
～山上明美とクライスコスモスの仲間たち～ 第30回記念コンサート
- 41 堀江政生のシンフォニア・アワー vol.59
- 42 ホールトピックス
- 43 Concert Calendar 2023.9～2023.11

9月のSinfonia会員先行予約について

Sinfonia会員先行予約を開始する9月21日(木)～9月27日(水)の期間は「お電話」と「窓口」の営業を10:00～18:00とさせていただきます。この期間以外の営業時間は、お電話・窓口ともに11:00～16:00となります。※火曜定休

※Sinfonia会員先行予約期間中は、電話・WEBのみのご予約となります。

※Sinfonia会員先行期間中にご予約されたチケットは、すべて郵送でのお届けとなります。

●電話: ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333 (火曜定休)
新型コロナウイルス感染拡大の状況により、営業時間が変更となる場合がございます。詳細はホームページをご確認ください。

●WEB: <https://www.symphonihall.jp/>

登録費
年会費
無料!

シンフォニア会員登録方法

シンフォニア会員にご登録いただけますと、先行予約のご利用、シンフォニアのお届け、メールマガジンの受け取り等お得な特典をご利用いただけます。ぜひご登録ください!

▼ WEBサイトからのご登録

ザ・シンフォニーホール ホームページ
<https://www.symphonihall.jp/> からご登録下さい。

▼ ハガキでのご登録

定型ハガキに下記の情報を記載いただき、63円切手を貼付の上、ポストに投函ください。

【定型ハガキ裏】1.お名前(フリガナ付き)、2.性別、3.郵便番号、4.住所、5.電話番号、

6.メールアドレス(メールマガジン受取りの場合)

【定型ハガキ表】531-8501 大阪市北区大淀南2丁目3-3

ザ・シンフォニーホール「シンフォニア」係

※手続き完了後、約2週間で会員番号のお知らせと、シンフォニア最新号をお送り致します。

※携帯端末のメールアドレスをご登録いただく場合、受信設定をしていない方はメールが受信できない場合がございます。[@symphonihall.jp]をドメイン指定受信して下さい。指定方法はご利用の携帯電話会社にお問い合わせください。

【お客様の個人情報の取り扱いについて】株式会社ザ・シンフォニーホールでは、次に掲げた内容にしたがって、個人情報の保護に努めてまいります。○お客様からご提供いただいた個人情報の取り扱いについては、個人情報に関する法令、規程に準拠して適正に管理いたします。○お客様からいただいた個人情報は、以下の目的のみに使用し、それ以外には一切使用いたしません。(1) シンフォニア会員様への情報誌「シンフォニア」および関連する印刷物の発送 (2) ザ・シンフォニーホールで開催する催事をご案内する印刷物の発送 (3) ホールなど施設の利用に関するご案内、ご連絡 (4) ザ・シンフォニーホールの事業、サービスの開発、改善を目的とした調査、研究のためのアンケートの送付・分析・データ集積 (5) チケット予約販売に伴う、ご本人確認およびご連絡 (6) 株式会社ザ・シンフォニーホールに関するご案内の発送○個人情報の提供はご自身の意思でご本人様が行うものとなります。○お客様の個人情報を、適正かつ迅速に処理するため、その作業を外部の企業に委託して行うことがあります。その場合、委託先において個人情報の安全に管理されるよう適切に監督します。

●表紙「ジルベスターコンサート 2023・ニューイヤーコンサート 2024」

ザ・シンフォニーホール子供鑑賞体験支援事業

18歳以下限定
子供無料招待席のご案内

新型コロナウイルス感染症の影響下において、劇場・音楽堂等で子供たちが文化芸術の鑑賞や体験をする機会が多く失われている状況に鑑み、劇場・音楽堂等で行われる子供たちの実演芸術の鑑賞・体験等を提供する取組を文化庁支援のもと行うことが決定いたしました。

ザ・シンフォニーホールでは下記の公演で子供無料席を設け、18歳以下の皆様を公演にご招待いたします。下記の要領をよくご確認いただき、奮ってご応募ください。

対象公演

2023.10/21 (土) 3:00PM

チューリッヒ・トーンハレ管弦楽団 大阪公演

【対象】中学生以上 18歳以下 【定員】363名

【応募期間】5/28 (日) 12:00～9/30 (土) 16:00まで

2023.11/3 (金・祝) 3:00PM

チェコ・フィルハーモニー管弦楽団 大阪公演

【対象】中学生以上 18歳以下 【定員】363名

【応募期間】5/28 (日) 12:00～9/30 (土) 16:00まで

2023.12/31 (日) 5:00PM

ジルベスターコンサート2023

【対象】小学生以上 18歳以下 【定員】314名

【応募期間】7/23 (日) 12:00～11/30 (木) 16:00まで

2024.1/1 (月・祝) 3:00PM

ニューイヤーコンサート2024

【対象】小学生以上 18歳以下 【定員】314名

【応募期間】7/23 (日) 12:00～11/30 (木) 16:00まで

対象者

公演当日、対象年齢以上18歳以下 (公演によって異なりますので、ご注意ください)

お申込み方法

★公式ホームページ (<https://www.symphonihall.jp/>) の子供無料招待席専用ページよりお申込み下さい。

★ご予約は先着順で受け付け、応募多数の場合、抽選となります。各公演の定員に達し次第、終了とさせていただきます。当ホールよりメールにてご連絡をさせていただきます。公演当日の詳細につきましても、メールに記載させていただきます。

★お申込みが定員に満たない場合は、二次募集を行います。

★ご応募は1公演につき、お一人様1回 (4枚まで) でお願いいたします。

★必ず氏名・年齢が確認できる身分証明書 (学生証・マイナンバーカード・保険証など) の添付をお願いいたします。

★同伴者が19歳以上の場合は別途チケットをご購入いただく必要があります。ご購入については当日現金にてお支払いのみとなります。ご注意ください。

★子供無料招待席と一般販売席はエリアが異なります。同伴者の方と隣席購入ができない場合がございますので、あらかじめご了承ください。

★学校・団体での申込も受付しております。

直接事務局 (kodomom@symphonihall.jp) にお問い合わせください。応募多数の場合はご希望に沿えない場合がございますので、予めご了承ください。

★公演終了後、子供無料席で公演を鑑賞された方を対象に文化庁のアンケートにご協力いただくことを予定しておりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

★本アンケート実施のため、子供文化芸術活動支援事業 (劇場・音楽堂等の子供鑑賞体験支援事業) 事務局にメールアドレスのみを提供いたしますので、ご了承の上お申し込みください。



詳細・注意事項は
こちらから



Agency for Cultural Affairs, Government of Japan

文化庁 子供文化芸術活動支援事業
(劇場・音楽堂等の子供鑑賞体験支援事業)

前橋汀子

Interview

ヴァイオリン・スペシアル・コンサート

日本を代表するヴァイオリニスト、前橋汀子。
2024年新春、オーケストラをバックに特別なコンサートに挑む。
美しい小品から技巧的な協奏曲まで、
ヴァイオリンのさまざまな魅力を詰め込んだ
華やかなステージだ。



撮影：鈴木久美子

演奏活動60余年
音楽人生の集大成として

「1回1回のコンサートを大事に、
気力と体力が続く限り弾き続けた
い。そう強く願っています」
真つすぐな視線で、前橋汀子は
現在の心境を語る。

日本のヴァイオリニストの先駆
者として、情熱的なステージで聴
衆を魅了し続けてきた。演奏活動
60余年の名手は、23年末に80歳を
迎える。

「出会いに恵まれ、点が線になっ
てつながり、これまで国内外でた
くさんヴァイオリンを弾かせてい
ただきました。運が良かったと思
います。ここまでこられて自分で
もびっくりしています」とやわら
かな笑みを浮かべる。

そんな特別な新春に挑むのが、
オーケストラと協演するスペシヤ
ルコンサート。幕開けはステージ
にただ一人、バッハの《シャコン
ヌ》から。ヴィヴァルディの《四
季》より《冬》で弦楽アンサンブル
の妙を聴かせ、最新CDにも収録
したベートーヴェンの《ロマンス》
やヴァイオリンコンチェルトの
傑作・メンデルスゾーン、ファン
からのリクエストが多いという
《ツイゴイネルワイゼン》まで。
いずれも長年大切に弾き続けて
きた名曲ばかりだ。

「ソロから始まって、編成を変え
ながら、ヴァイオリンの魅力をさ

「一番多感な時期に、言葉も文化
も宗教も違う特別な才能を持った
人たちと寮生活を送りました。

日々の暮らしも大変で、生半可な
気持ちでは生きていけない。奏法
も変えて一からやり直し、基礎を
たたき込みました。あの3年間で
あったから、今までやってこれた
と思います」

その後アメリカ、ヨーロッパと
拠点を移しながら、ソリストとし
て名を高め、ピーク時には国内外
で年間約130ステージを務めて
きた。長年の功績が評価され、日
本芸術院賞、紫綬褒章、旭日小綬章
などの栄誉に輝いている。

いつまでも高みを目指して
ストイックに芸を究める

近年の特筆すべき活動といえ
ば、カルテットだろう。2014
年からチェロの原田禎夫、ヴァイ
オリンの久保田巧、ヴィオラの川
本嘉子と共に、じっくりとベー
トーヴェンの弦楽四重奏曲に打
ち込んだ。

「若い頃からカルテットをやった
いと思っていました。（東京クワ
ルテット創設メンバーの）原田さん
に教わりながら、楽譜を細部に
いたるまで見直しました。本当に時
間のかかる作業でしたが、ソロで
弾いている時には気づかなかった
発見がたくさんあり、私にとって
大変勉強になりました」

この経験を経たことで、さらな
る目標ができた。

「改めてベートーヴェンのヴァ
イオリンソナタ全10曲に挑戦した
いと思うようになりました。月並
みな言葉ですけど、私にとって弾
くたびに、楽譜を見直すたびに気
づきがあります。バッハの《シャ
コンヌ》もそう。集中して取り組む
と、階段を一步上がった気がして、
少し違った景色が見える。もうこ
の上はない、頂上まで来たか……。そ
う思うのですが、やっぱり上があ
る。徹底して究めるという姿勢は
ずっと大事にしてきました」

気力と体力が続く限り
精一杯弾き続けたい

ザ・シンフォニーホールとも縁
が深い。日本初のクラシック専用
コンサートホールとして華々し
く開館した1982年、オーブニ



©JL-Bongrand

指揮&チェンバロ
ヴァハン・マルディロシアン

[ヴァイオリン]前橋汀子 [指揮&チェンバロ]ヴァハン・マルディロシアン
[管弦楽]日本センチュリー交響楽団

J.S.バッハ：無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ 第2番 BWV11004より《シャコンヌ》／ヴィヴァルディ：ヴァイオリン協奏曲集《四季》より《冬》op.8-4／ベートーヴェン：ロマンス 第2番 へ長調 op.50／サン＝サーンス：序奏とロンド・カプリチオーソ イ短調 op.28／メンデルスゾーン：ヴァイオリン協奏曲 ホ短調 op.64／サラサーテ：ツイゴイネルワイゼン op.20

2024.1/14 (日) 2:00PM

S 7,700円 A 6,600円(税込)

[お問い合わせ]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催]ザ・シンフォニーホール

発売中

変わらぬ艶やかな音色、深みを
増す表現力。アップデイトし続け
る大ベテランの現在地を、名ホー
ルで味わいたい。

(取材：文出水奈美)

ングのステージに朝比奈隆の指
揮で演奏を披露した。

「オーブニングからお世話にな
り、今日まで弾かせていただいで。
大阪のお客様の情熱的で親密な空
気が感じられますし、弾きやすく
て大好きなホールです。私も残さ
れた時間を精一杯弾き続けたいと
思っていますので、ぜひ生のコン
サートを体験してください」

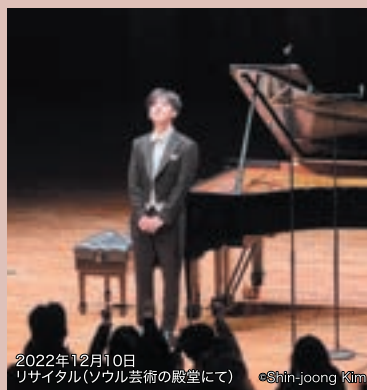
無伴奏&弦楽合奏& 協奏曲に挑む 名手が魅せる変幻自在の ヴァイオリン

さまざまな角度から味わっていただ
きたい。私の集大成のつもりで、
大事に弾きたいと思っています」

人生のすべてをかけて
芸術の道にすすむ

5歳からヴァイオリンを学び、
東京・日比谷公会堂で巨匠オイス
トラフの演奏を聴いて衝撃を受
け、17歳で親元を離れ旧ソ連へ





2022年12月10日
リサイタル(ソウル芸術の殿堂にて) ©Shin Joong Kim



©Ralph Lauer



2023年7月2日ルツェルン交響楽団との協演(ソウル芸術の殿堂にて)

©Vincenzo Lee Won Hee

イム・エンチャン

ピアノ・リサイタル

確信に満ちた輝かしい音楽を届ける、
韓国の若きピアニスト

ヴァン・クライバーン国際ピアノコンクールで
史上最年少優勝した、イム・エンチャン。
注目の俊英がショパンの練習曲全曲に挑む。

すべてのフレーズに歌詞を感じながら

ヴァン・クライバーン国際ピアノコンクールでは、セミファイナルのうちのワンステージでリストの超絶技巧練習曲全曲を演奏するという、思い切った選択をしていた。若々しく勢いのあるタッチ、自己の内面を省みるような暗い音色、柔らかない歌など、リストの世界に没頭しながらさまざまな表現を聴かせ、音楽的な意味で卓越した技巧の持ち主であることを十分に見せつけた。

そんなエンチャンが今度のリサイタルで演奏するのは、「3つの新しい練習曲」と「12の練習曲」作品10、作品25という、ショパンのエチュード全曲プログラム。ピアニストが技術的に最も充実している時期に挑むことの多い、特別なレパートリーだ。彼が今これに取り組むことにした理由は、「巨匠と呼ばれるピアニストたちが演奏しているプログラムで、自分もその伝統のなかに身を置きたい気持ちがあるから」。お気に入りの録音で影響を受けたのは、フランスを代表するショパンの名手、アルフレッド・コルトーの演奏だという。

エンチャンの場合、自分がこうしたいという確かなイメージがない限り、ある作品に取り組んでみようとする

することはまずないと話す。アーティストの成熟に年齢は関係ないというものの、一般に「先生から言われたレパートリーを勉強するケースも多いティーンエイジャーでこれほどはつきりした意志を持っているのは、特別といえるだろう」。

新たな作品に取り組むにあたっては、まず楽譜を読み、それから大ピアニストの音源を聴くなどして、自分の解釈の方向性をしっかり定める。そのうえで、始めてピアノに向かつて練習し、イメージやフレーズごとの感覚を磨きあげていくそうだ。

同じエチュードでも、ショパンには、リストのそれとはまた違った難しさがある。

「名前こそ練習曲とつけられていて、そのスタイルで作られてはいますが、自分だけの想像力を最大に働かせ、テクニクを用いて豊かな詩情を表現しなくてはいいけません。すべてのフレーズに歌詞を感じながら弾いていくイメージです」

エンチャンをこれほど芯の強いピアニストにしたのは、本人の素質や努力はもちろん、周囲の環境も大きいだろう。両親は音楽関係ではないが、7歳でピアノを始めるのとめりこみ、自宅にあったブレイヤーで古いピアニストのレコードをたくさん聴いたという。

そして13歳から韓国のピアニスト、ソン・ミンズに師事するようになり、

芯のある音楽家とは、練習したことを舞台で捨てる人

4年に1度、アメリカ、テキサス州フォートワースで開催される、ヴァン・クライバーン国際ピアノコンクール。優勝者には、3年間のマネジメント契約と北米を中心とした世界各地でのコンサートツアーが約束されていることから、数ある著名コンクールのなかでも、とりわけ、音楽家としての強さと成熟度、スター性を併せ持つピアニストが求められていることで知られる。そんな登竜門において18歳の若さで金メダルに輝き、躍注目されたのが、2004年韓国生まれのイム・エンチャンだ。鮮やかなテクニクを持つ若手は今やめずらしくないが、その音楽表現やプログラムの選び方に、強いこだわりと確信が垣間見られたところが特別だった。物静かそうな外見でありながら、ひとたびピアノに向かうと情熱をほとばしらせ、その場で頭の中に浮かぶイメージを自在に音楽にしていた。実際エンチャンは、「もちろん練習はたくさんするけれど、舞台の上に出ると全く違う精神世界に入っていきます。するとその場で新しい表現が生まれるのです。芯のある音楽家とは、練習でやってきたことを舞台で捨てる人だと思っています」と話す。

現在に至る。世界的に活躍する韓国人ピアニストは今や多いが、国内のみで学び、この若さで世界の第一線に踊り出るケースは、やはりまだ珍しい。特別な逸材が適切な指導のもと、真面目に、しかしのびのびと自分の音楽を育んだ結果生まれたのが、エンチャンといえるのだろう。

優勝以後生活が変わり、多忙なスケジュールで世界を飛び回っているようだが、その素朴な雰囲気と音楽への愛情には変化がないように見受けられる。今度のリサイタルでも、ステージに現れてピアノに向かった瞬間の魅力的な「豹変ぶり」を目の当たりにすることになるだろう。

(文 高坂はる香)

[ピアノ]イム・エンチャン

《オール・ショパン・プログラム》
3つの新しいエチュード(遺作)／12のエチュード op.10
12のエチュード op.25

2024.2/11(日・祝) 2:00PM

全席指定 6,000円(税込)

[お問い合わせ] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催] ザ・シンフォニーホール

先行予約: 9/21(木) 一般発売: 9/24(日)

横坂 源 チェロ・リサイタル
Gen Yokosaka Cello Recital

Romance
Del Diablo

悪魔のロマンス

PROGRAM

ベートーヴェン：チェロ・ソナタ 第4番
ハ長調 op.102-1

R.シュトラウス：チェロ・ソナタ ヘ長調 op.6

サン＝サーンス：白鳥

ピアソラ：悪魔のロマンス

ピアソラ：鯨

ピアソラ：リベルタンゴ

ピアソラ：ル・グラン・タンゴ

順不同

[ピアノ] 沼沢 淑音

2024 2/3 (土) 19:00開演 (18:15 開場)
全席指定 4,400円(税込)

ザ・シンフォニーホール
主催：ザ・シンフォニーホール

プレイガイド

■e+ (イープラス) <https://eplus.jp/symphonyhall/> (パソコン・携帯)
■ローソンチケット <https://l-tike.com/symphonyhall/> [Lコード: 54263]
■チケットぴあ <https://w.pia.jp/t/symphonyhall/> [Pコード: 244-930]

ご予約・お問合せ

ザ・シンフォニー チケットセンター
06-6453-2333 (火曜定休) <https://www.symphonyhall.jp>

※未就学児のご入場はご遠慮いただいております。※やむを得ない事情により、曲目、曲順が変更になる場合がございます。※公演中止・延期の場合を除いて、チケット代金の払い戻しは承りません。予めご了承下さい。



横坂 源 チェロ・リサイタル 悪魔のロマンス



ピアノ 沼沢 淑音

チェロの名手、横坂 源が盟友と奏でるドイツ音楽とピアソラ

横坂 源は、日本のチェロ界を担う名手。歌心に満ちあふれる演奏は、彼の大きな魅力である。卓越した演奏技術を駆使して、作品の内面へと肉薄し、聴き手を大きな世界へと誘う。

近年、横坂はオーケストラとの共演やリサイタルのために、何度もザ・シンフォニーホールに登場している。「弦楽器にとつて響きがとても良いのです」と、このホールの音響を絶賛している。

横坂は新潟育ち。少年時代からその才能は際立っていた。13歳で東京交響楽団とサン＝サーンス作曲の《チェロ協奏曲》を共演し、高校入学を前にして小澤征爾とサントリーホールで同じ舞台に立った。高校時

代、ジャン・ギアン・ケラスの演奏に深い感銘を受け、その指導を受けた。シュトゥットガルト音楽大学でも彼のもとで研鑽を積み、最難関のコンクールのひとつに数えられる第59回ミュンヘン国際音楽コンクールで第2位を受賞。帰国後も、NHK交響楽団や東京都交響楽団など日本のトップ・オーケストラの演奏会に頻繁に出演している。

横坂がこれまでザ・シンフォニーホールで行なったリサイタルは、いずれもロマンティックな作品を中心としたプログラムであった。2024年2月のリサイタルでは、それまでとは趣をがらりと変えたプログラムに挑む。

リサイタルの前半では、2曲のチェロ・ソナタがプログラムの軸をなす。まず、ベートーヴェン《チェロ・ソナタ 第4番》は、彼の後期様式の始まりに位置する作品で、形式や主題、そして楽曲の展開手法などの点で、構築的な第3番とは異なり、深い内面世界が表現されている。続いて、後期ロマン派のリヒャルト・シュトラウスの《チェロ・ソナタ》。この作品の突き抜けるような明朗さとスリリングな音楽の展開は、若きシュトラウスの意気込みをよく示している。そして、ピアソラの作品がプログラムの後半を彩る。《鯨》や《リベルタンゴ》《ル・グラン・タンゴ》など、奔放で情熱的な音の世界

へと聴く者を連れて行ってくれるだろう。そして、サン＝サーンス作曲の《白鳥》は、チェロの作品のなかで最も広く知られ、古今東西のチェリストに愛奏され続けている小品のひとつ。

今回のリサイタルで共演するのは、ヴィルサラエゼのもとで学んだピアノリスト、沼沢 淑音。共演者として引手あまたで、アルゲリッチも彼の才能を絶賛している。横坂とは桐朋女子高校音楽科の同級生で、以前から共演している。日本を代表するトップアーティストの競演にも、ぜひ注目していただきたい。

(文 道下京子)

[チェロ] 横坂 源 [ピアノ] 沼沢 淑音

ベートーヴェン：チェロ・ソナタ 第4番 ハ長調 op.102-1
R.シュトラウス：チェロ・ソナタ ヘ長調 op.6 / サン＝サーンス：白鳥
ピアソラ：悪魔のロマンス、リベルタンゴ、鯨、ル・グラン・タンゴ

2024.2/3 (土) 7:00PM

全席指定 4,400円(税込)

[お問い合わせ] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催] ザ・シンフォニーホール

先行予約：9/21 (木) 一般発売：9/24 (日)

オルガン 名曲決定版2024

富田一樹 Interview
インタビュー Vol.1

バッハ国際コンクールの覇者、富田一樹が新たなレパートリーにも挑む大阪が世界に誇るオルガニストの富田一樹が、来年2月に「オルガン名曲決定版」と題し、彼が深い敬愛の念を寄せるJ.S.バッハの作品をはじめ、ドイツの作曲家フクステフェーデやフランス近代の作曲家シグラー、ドイツ・ロマン派のエラート、古典派のケルナーなどさまざまな時代の名曲を披露する。富田が初めて挑む曲もあり、彼の新たな一面を知ることができるコンサートとなりそうだ。そんな彼へのインタビューを、2回にわたり紹介する。

「オルガン名曲決定版」のプログラムのコンセプトを教えてください。

「名曲」ですので、みなさんが知っている曲とともに、ご存じない曲でも初めて聴いても楽しめる曲を選びました。

「このリサیتالで、初めて演奏する作品もあるそうですね。」

僕は、レパートリーの数よりも、1曲1曲の質を求めた方が良く考えています。また、バッハに取り組む機会が多かったのですが、今回、ロマン派近代、現代の作品に挑戦する機会を与えていただき、ありがたく思います。

「やはりバッハを愛し続けているんですね。」

僕にとってバッハは、音楽に対して初めて情熱を注ぎきっかけとなった作曲家。わし掴みにされたかのような思いに駆られました！



バッハの魅力に触れたのは、10代前半。バッハの数学的な要素を少しずつ理解できるようになったことも良かったのだと思います。

「ザ・シンフォニーホール」のオルガンの魅力を教えてください。

まず、弦楽器になじむようなふくやかなパイプが多いのです。弦楽アンサンブルをやっているわけではないのに、例えば今回演奏するアルビノーニ《アダージョ》の、包みこむような音色はひとつの魅力です。

バッハは当時、どのようなオルガンを弾いていたかというと、料理に例えるならば、「辛み」が加わっています。バッハの音楽は、ポリフォニーを駆使しているので、旋律と旋律がしっかりと噛み合わないと、その一つひとつは聴こえてこないし、ハーモニーもしっか

り響かないのです。ザ・シンフォニーホールのオルガンは、その2つの両立を実現できる楽器で、そういう辛みになる要素がいくつもあり、バッハを弾くにふさわしい音色がいろいろあるのです。

「パイプオルガンのさまざまな音色を聴くのも楽しみです。」

パイプオルガンは、音の色彩のヴァリエーションがすごく豊かに作れるのです。僕がどのコンサートでも心がけているのは、さまざまな音色をお客さまに聴いていただくことです。そのことは、オルガンの個性を引き出すためにもとても重要だと思っています。(60号へ続きます)

(文 道下京子)

【オルガン】富田一樹

ブクステフェーデ：前奏曲とフーガ へ長調 BuxWV145 / ジャゾット：アルビノーニのアダージョ ト短調 (オルガンソロ版) / エラート：凱行進曲「いざ諸人よ、神に感謝せよ」 op.65-59 / シグラー：トッカータ ト短調 / ケルナー：前奏曲 ハ長調 / シャイデマン：ガイヤルドと変奏 ニ短調 WV107 / J.S.バッハ：「われ汝に呼ばわる、主イエス・キリストよ」 BWV639 / 「目覚めよと呼ぶ声あり」 BWV645、幻想曲とフーガ ト短調 BWV542 「大フーガ」

2024.2/16(金) 7:00PM

全席指定 3,000円(税込) ※休憩なし。約60分のコンサートです。
[お問い合わせ] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催] ザ・シンフォニーホール

先行予約：9/21(木) 一般発売：9/24(日)

バッハ国際コンクールの覇者
富田一樹、究極のベスト・プログラム!!

【オルガン】富田一樹

KAZUKI TOMITA

ブクステフェーデ：前奏曲とフーガ へ長調 BuxWV145

ジャゾット：アルビノーニのアダージョ ト短調 (オルガンソロ版)

エラート：凱行進曲「いざ諸人よ、神に感謝せよ」 op.65-59

シグラー：トッカータ ト短調

ケルナー：前奏曲 ハ長調

シャイデマン：ガイヤルドと変奏 ニ短調 WV107

J.S.バッハ：「われ汝に呼ばわる、主イエス・キリストよ」 BWV639

J.S.バッハ：「目覚めよと呼ぶ声あり」 BWV645

J.S.バッハ：幻想曲とフーガ ト短調 BWV542 「大フーガ」

※休憩なし。約60分間のコンサートです。

2024.2.16(金) 19:00開演 (18:00開場)
全席指定 3,000円(税込)

ご予約・お問合せ ■ ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333(火曜定休) <https://www.symphonihall.jp>

プレイガイド ■ e+ (イープラス) <https://eplus.jp/symphonihall/> (パソコン・携帯) ■ ローソンチケット <https://l-tike.com/symphonihall/> [Lコード:53344] ■ チケットぴあ <https://w.pia.jp/t/symphonihall/> [Pコード:247-241]

*未就学児のご入場はご遠慮いただいております。*やむを得ない事情により、出演者、曲目、曲順が変更になる場合がございます。
*公演中止・延期の場合を除いて、チケット代金の払い戻しは承りません。予めご了承ください。

ザ・シンフォニーホール

主催：ザ・シンフォニーホール

華麗なるガラ・コンサート

クラシック音楽が世界をつなぐ～輝く未来に向けて～

次世代の巨匠たち、名曲の饗宴



飯森範親
(指揮)



松田華音
(ピアノ)



南 紫音
(ヴァイオリン)



富田一樹
(オルガン)

大栗 裕:
大阪俗謡による幻想曲

グリーグ:
ピアノ協奏曲 イ短調 作品16
(ピアノ: 松田華音)

メンデルスゾーン:
ヴァイオリン協奏曲 ホ短調 作品64
(ヴァイオリン: 南 紫音)

サン＝サーンス:
交響曲 第3番 ハ短調 作品78
「オルガン付き」
(オルガン: 富田一樹)

2023 10.9 [月・祝] 15:00開演 (14:00開場) ザ・シンフォニーホール

S席 6,000円 A席 4,500円 B席 3,000円 (全席指定/税込)

(ご予約・お問合せ) ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333 (火曜定休) <https://www.symphonycaravan.jp>

◆チケットぴあ
<https://w.pia.jp/t/symphonycaravan/> [Pコード: 241-B74]
◆e+ (イープラス)
<https://eplus.jp/symphonycaravan/> (パソコン・携帯)
◆ローソンチケット
<https://l-tike.com/symphonycaravan/> [Lコード: 54702]

主催: 一般社団法人日本クラシック音楽事業協会 / ジャパン・オーフ 協力: ザ・シンフォニーホール



文化庁文化芸術振興費補助金
「芸術振興による文化芸術振興事業」(アートキャラバン2)
独立行政法人日本芸術文化振興会

公演WEBサイトは
こちら▶▶▶
<https://www.classic-caravan.com>

※公演内容や日程は予告なく変更される場合があります。公演中止の場合は、お求めのチケットのキャンセル・返金はできません。①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿㏀㏁㏂㏃㏄㏅㏆㏇㏈㏉㏊㏋㏌㏍㏎㏏㏐㏑㏒㏓㏔㏕㏖㏗㏘㏙㏚㏛㏜㏝㏞㏟㏠㏡㏢㏣㏤㏥㏦㏧㏨㏩㏪㏫㏬㏭㏮㏯㏰㏱㏲㏳㏴㏵㏶㏷㏸㏹㏺㏻㏼㏽㏾㏿㐀㐁㐂㐃㐄㐅㐆㐇㐈㐉㐊㐋㐌㐍㐎㐏㐐㐑㐒㐓㐔㐕㐖㐗㐘㐙㐚㐛㐜㐝㐞㐟㐠㐡㐢㐣㐤㐥㐦㐧㐨㐩㐪㐫㐬㐭㐮㐯㐰㐱㐲㐳㐴㐵㐶㐷㐸㐹㐺㐻㐼㐽㐾㐿㑀㑁㑂㑃㑄㑅㑆㑇㑈㑉㑊㑋㑌㑍㑎㑏㑐㑑㑒㑓㑔㑕㑖㑗㑘㑙㑚㑛㑜㑝㑞㑟㑠㑡㑢㑣㑤㑥㑦㑧㑨㑩㑪㑫㑬㑭㑮㑯㑰㑱㑲㑳㑴㑵㑶㑷㑸㑹㑺㑻㑼㑽㑾㑿㒀㒁㒂㒃㒄㒅㒆㒇㒈㒉㒊㒋㒌㒍㒎㒏㒐㒑㒒㒓㒔㒕㒖㒗㒘㒙㒚㒛㒜㒝㒞㒟㒠㒡㒢㒣㒤㒥㒦㒧㒨㒩㒪㒫㒬㒭㒮㒯㒰㒱㒲㒳㒴㒵㒶㒷㒸㒹㒺㒻㒼㒽㒾㒿㓀㓁㓂㓃㓄㓅㓆㓇㓈㓉㓊㓋㓌㓍㓎㓏㓐㓑㓒㓓㓔㓕㓖㓗㓘㓙㓚㓛㓜㓝㓞㓟㓠㓡㓢㓣㓤㓥㓦㓧㓨㓩㓪㓫㓬㓭㓮㓯㓰㓱㓲㓳㓴㓵㓶㓷㓸㓹㓺㓻㓼㓽㓾㓿㔀㔁㔂㔃㔄㔅㔆㔇㔈㔉㔊㔋㔌㔍㔎㔏㔐㔑㔒㔓㔔㔕㔖㔗㔘㔙㔚㔛㔜㔝㔞㔟㔠㔡㔢㔣㔤㔥㔦㔧㔨㔩㔪㔫㔬㔭㔮㔯㔰㔱㔲㔳㔴㔵㔶㔷㔸㔹㔺㔻㔼㔽㔾㔿㕀㕁㕂㕃㕄㕅㕆㕇㕈㕉㕊㕋㕌㕍㕎㕏㕐㕑㕒㕓㕔㕕㕖㕗㕘㕙㕚㕛㕜㕝㕞㕟㕠㕡㕢㕣㕤㕥㕦㕧㕨㕩㕪㕫㕬㕭㕮㕯㕰㕱㕲㕳㕴㕵㕶㕷㕸㕹㕺㕻㕼㕽㕾㕿㖀㖁㖂㖃㖄㖅㖆㖇㖈㖉㖊㖋㖌㖍㖎㖏㖐㖑㖒㖓㖔㖕㖖㖗㖘㖙㖚㖛㖜㖝㖞㖟㖠㖡㖢㖣㖤㖥㖦㖧㖨㖩㖪㖫㖬㖭㖮㖯㖰㖱㖲㖳㖴㖵㖶㖷㖸㖹㖺㖻㖼㖽㖾㖿㗀㗁㗂㗃㗄㗅㗆㗇㗈㗉㗊㗋㗌㗍㗎㗏㗐㗑㗒㗓㗔㗕㗖㗗㗘㗙㗚㗛㗜㗝㗞㗟㗠㗡㗢㗣㗤㗥㗦㗧㗨㗩㗪㗫㗬㗭㗮㗯㗰㗱㗲㗳㗴㗵㗶㗷㗸㗹㗺㗻㗼㗽㗾㗿㘀㘁㘂㘃㘄㘅㘆㘇㘈㘉㘊㘋㘌㘍㘎㘏㘐㘑㘒㘓㘔㘕㘖㘗㘘㘙㘚㘛㘜㘝㘞㘟㘠㘡㘢㘣㘤㘥㘦㘧㘨㘩㘪㘫㘬㘭㘮㘯㘰㘱㘲㘳㘴㘵㘶㘷㘸㘹㘺㘻㘼㘽㘾㘿㙀㙁㙂㙃㙄㙅㙆㙇㙈㙉㙊㙋㙌㙍㙎㙏㙐㙑㙒㙓㙔㙕㙖㙗㙘㙙㙚㙛㙜㙝㙞㙟㙠㙡㙢㙣㙤㙥㙦㙧㙨㙩㙪㙫㙬㙭㙮㙯㙰㙱㙲㙳㙴㙵㙶㙷㙸㙹㙺㙻㙼㙽㙾㙿㚀㚁㚂㚃㚄㚅㚆㚇㚈㚉㚊㚋㚌㚍㚎㚏㚐㚑㚒㚓㚔㚕㚖㚗㚘㚙㚚㚛㚜㚝㚞㚟㚠㚡㚢㚣㚤㚥㚦㚧㚨㚩㚪㚫㚬㚭㚮㚯㚰㚱㚲㚳㚴㚵㚶㚷㚸㚹㚺㚻㚼㚽㚾㚿㜀㜁㜂㜃㜄㜅㜆㜇㜈㜉㜊㜋㜌㜍㜎㜏㜐㜑㜒㜓㜔㜕㜖㜗㜘㜙㜚㜛㜜㜝㜞㜟㜠㜡㜢㜣㜤㜥㜦㜧㜨㜩㜪㜫㜬㜭㜮㜯㜰㜱㜲㜳㜴㜵㜶㜷㜸㜹㜺㜻㜼㜽㜾㜿㝀㝁㝂㝃㝄㝅㝆㝇㝈㝉㝊㝋㝌㝍㝎㝏㝐㝑㝒㝓㝔㝕㝖㝗㝘㝙㝚㝛㝜㝝㝞㝟㝠㝡㝢㝣㝤㝥㝦㝧㝨㝩㝪㝫㝬㝭㝮㝯㝰㝱㝲㝳㝴㝵㝶㝷㝸㝹㝺㝻㝼㝽㝾㝿㞀㞁㞂㞃㞄㞅㞆㞇㞈㞉㞊㞋㞌㞍㞎㞏㞐㞑㞒㞓㞔㞕㞖㞗㞘㞙㞚㞛㞜㞝㞞㞟㞠㞡㞢㞣㞤㞥㞦㞧㞨㞩㞪㞫㞬㞭㞮㞯㞰㞱㞲㞳㞴㞵㞶㞷㞸㞹㞺㞻㞼㞽㞾㞿㟀㟁㟂㟃㟄㟅㟆㟇㟈㟉㟊㟋㟌㟍㟎㟏㟐㟑㟒㟓㟔㟕㟖㟗㟘㟙㟚㟛㟜㟝㟞㟟㟠㟡㟢㟣㟤㟥㟦㟧㟨㟩㟪㟫㟬㟭㟮㟯㟰㟱㟲㟳㟴㟵㟶㟷㟸㟹㟺㟻㟼㟽㟾㟿㠀㠁㠂㠃㠄㠅㠆㠇㠈㠉㠊㠋㠌㠍㠎㠏㠐㠑㠒㠓㠔㠕㠖㠗㠘㠙㠚㠛㠜㠝㠞㠟㠠㠡㠢㠣㠤㠥㠦㠧㠨㠩㠪㠫㠬㠭㠮㠯㠰㠱㠲㠳㠴㠵㠶㠷㠸㠹㠺㠻㠼㠽㠾㠿㡀㡁㡂㡃㡄㡅㡆㡇㡈㡉㡊㡋㡌㡍㡎㡏㡐㡑㡒㡓㡔㡕㡖㡗㡘㡙㡚㡛㡜㡝㡞㡟㡠㡡㡢㡣㡤㡥㡦㡧㡨㡩㡪㡫㡬㡭㡮㡯㡰㡱㡲㡳㡴㡵㡶㡷㡸㡹㡺㡻㡼㡽㡾㡿㢀㢁㢂㢃㢄㢅㢆㢇㢈㢉㢊㢋㢌㢍㢎㢏㢐㢑㢒㢓㢔㢕㢖㢗㢘㢙㢚㢛㢜㢝㢞㢟㢠㢡㢢㢣㢤㢥㢦㢧㢨㢩㢪㢫㢬㢭㢮㢯㢰㢱㢲㢳㢴㢵㢶㢷㢸㢹㢺㢻㢼㢽㢾㢿㣀㣁㣂㣃㣄㣅㣆㣇㣈㣉㣊㣋㣌㣍㣎㣏㣐㣑㣒㣓㣔㣕㣖㣗㣘㣙㣚㣛㣜㣝㣞㣟㣠㣡㣢㣣㣤㣥㣦㣧㣨㣩㣪㣫㣬㣭㣮㣯㣰㣱㣲㣳㣴㣵㣶㣷㣸㣹㣺㣻㣼㣽㣾㣿㤀㤁㤂㤃㤄㤅㤆㤇㤈㤉㤊㤋㤌㤍㤎㤏㤐㤑㤒㤓㤔㤕㤖㤗㤘㤙㤚㤛㤜㤝㤞㤟㤠㤡㤢㤣㤤㤥㤦㤧㤨㤩㤪㤫㤬㤭㤮㤯㤰㤱㤲㤳㤴㤵㤶㤷㤸㤹㤺㤻㤼㤽㤾㤿㥀㥁㥂㥃㥄㥅㥆㥇㥈㥉㥊㥋㥌㥍㥎㥏㥐㥑㥒㥓㥔㥕㥖㥗㥘㥙㥚㥛㥜㥝㥞㥟㥠㥡㥢㥣㥤㥥㥦㥧㥨㥩㥪㥫㥬㥭㥮㥯㥰㥱㥲㥳㥴㥵㥶㥷㥸㥹㥺㥻㥼㥽㥾㥿㦀㦁㦂㦃㦄㦅㦆㦇㦈㦉㦊㦋㦌㦍㦎㦏㦐㦑㦒㦓㦔㦕㦖㦗㦘㦙㦚㦛㦜㦝㦞㦟㦠㦡㦢㦣㦤㦥㦦㦧㦨㦩㦪㦫㦬㦭㦮㦯㦰㦱㦲㦳㦴㦵㦶㦷㦸㦹㦺㦻㦼㦽㦾㦿㧀㧁㧂㧃㧄㧅㧆㧇㧈㧉㧊㧋㧌㧍㧎㧏㧐㧑㧒㧓㧔㧕㧖㧗㧘㧙㧚㧛㧜㧝㧞㧟㧠㧡㧢㧣㧤㧥㧦㧧㧨㧩㧪㧫㧬㧭㧮㧯㧰㧱㧲㧳㧴㧵㧶㧷㧸㧹㧺㧻㧼㧽㧾㧿㨀㨁㨂㨃㨄㨅㨆㨇㨈㨉㨊㨋㨌㨍㨎㨏㨐㨑㨒㨓㨔㨕㨖㨗㨘㨙㨚㨛㨜㨝㨞㨟㨠㨡㨢㨣㨤㨥㨦㨧㨨㨩㨪㨫㨬㨭㨮㨯㨰㨱㨲㨳㨴㨵㨶㨷㨸㨹㨺㨻㨼㨽㨾㨿㩀㩁㩂㩃㩄㩅㩆㩇㩈㩉㩊㩋㩌㩍㩎㩏㩐㩑㩒㩓㩔㩕㩖㩗㩘㩙㩚㩛㩜㩝㩞㩟㩠㩡㩢㩣㩤㩥㩦㩧㩨㩩㩪㩫㩬㩭㩮㩯㩰㩱㩲㩳㩴㩵㩶㩷㩸㩹㩺㩻㩼㩽㩾㩿㪀㪁㪂㪃㪄㪅㪆㪇㪈㪉㪊㪋㪌㪍㪎㪏㪐㪑㪒㪓㪔㪕㪖㪗㪘㪙㪚㪛㪜㪝㪞㪟㪠㪡㪢㪣㪤㪥㪦㪧㪨㪩㪪㪫㪬㪭㪮㪯㪰㪱㪲㪳㪴㪵㪶㪷㪸㪹㪺㪻㪼㪽㪾㪿㫀㫁㫂㫃㫄㫅㫆㫇㫈㫉㫊㫋㫌㫍㫎㫏㫐㫑㫒㫓㫔㫕㫖㫗㫘㫙㫚㫛㫜㫝㫞㫟㫠㫡㫢㫣㫤㫥㫦㫧㫨㫩㫪㫫㫬㫭㫮㫯㫰㫱㫲㫳㫴㫵㫶㫷㫸㫹㫺㫻㫼㫽㫾㫿㬀㬁㬂㬃㬄㬅㬆㬇㬈㬉㬊㬋㬌㬍㬎㬏㬐㬑㬒㬓㬔㬕㬖㬗㬘㬙㬚㬛㬜㬝㬞㬟㬠㬡㬢㬣㬤㬥㬦㬧㬨㬩㬪㬫㬬㬭㬮㬯㬰㬱㬲㬳㬴㬵㬶㬷㬸㬹㬺㬻㬼㬽㬾㬿㭀㭁㭂㭃㭄㭅㭆㭇㭈㭉㭊㭋㭌㭍㭎㭏㭐㭑㭒㭓㭔㭕㭖㭗㭘㭙㭚㭛㭜㭝㭞㭟㭠㭡㭢㭣㭤㭥㭦㭧㭨㭩㭪㭫㭬㭭㭮㭯㭰㭱㭲㭳㭴㭵㭶㭷㭸㭹㭺㭻㭼㭽㭾㭿㮀㮁㮂㮃㮄㮅㮆㮇㮈㮉㮊㮋㮌㮍㮎㮏㮐㮑㮒㮓㮔㮕㮖㮗㮘㮙㮚㮛㮜㮝㮞㮟㮠㮡㮢㮣㮤㮥㮦㮧㮨㮩㮪㮫㮬㮭㮮㮯㮰㮱㮲㮳㮴㮵㮶㮷㮸㮹㮺㮻㮼㮽㮾㮿㯀㯁㯂㯃㯄㯅㯆㯇㯈㯉㯊㯋㯌㯍㯎㯏㯐㯑㯒㯓㯔㯕㯖㯗㯘㯙㯚㯛㯜㯝㯞㯟㯠㯡㯢㯣㯤㯥㯦㯧㯨㯩㯪㯫㯬㯭㯮㯯㯰㯱㯲㯳㯴㯵㯶㯷㯸㯹㯺㯻㯼㯽㯾㯿㰀㰁㰂㰃㰄㰅㰆㰇㰈㰉㰊㰋㰌㰍㰎㰏㰐㰑㰒㰓㰔㰕㰖㰗㰘㰙㰚㰛㰜㰝㰞㰟㰠㰡㰢㰣㰤㰥㰦㰧㰨㰩㰪㰫㰬㰭㰮㰯㰰㰱㰲㰳㰴㰵㰶㰷㰸㰹㰺㰻㰼㰽㰾㰿㱀㱁㱂㱃㱄㱅㱆㱇㱈㱉㱊㱋㱌㱍㱎㱏㱐㱑㱒㱓㱔㱕㱖㱗㱘㱙㱚㱛㱜㱝㱞㱟㱠㱡㱢㱣㱤㱥㱦㱧㱨㱩㱪㱫㱬㱭㱮㱯㱰㱱㱲㱳㱴㱵㱶㱷㱸㱹㱺㱻㱼㱽㱾㱿㲀㲁㲂㲃㲄㲅㲆㲇㲈㲉㲊㲋㲌㲍㲎㲏㲐㲑㲒㲓㲔㲕㲖㲗㲘㲙㲚㲛㲜㲝㲞㲟㲠㲡㲢㲣㲤㲥㲦㲧㲨㲩㲪㲫㲬㲭㲮㲯㲰㲱㲲㲳㲴㲵㲶㲷㲸㲹㲺㲻㲼㲽㲾㲿㳀㳁㳂㳃㳄㳅㳆㳇㳈㳉㳊㳋㳌㳍㳎㳏㳐㳑㳒㳓㳔㳕㳖㳗㳘㳙㳚㳛㳜㳝㳞㳟㳠㳡㳢㳣㳤㳥㳦㳧㳨㳩㳪㳫㳬㳭㳮㳯㳰㳱㳲㳳㳴㳵㳶㳷㳸㳹㳺㳻㳼㳽㳾㳿㴀㴁㴂㴃㴄㴅㴆㴇㴈㴉㴊㴋㴌㴍㴎㴏㴐㴑㴒㴓㴔㴕㴖㴗㴘㴙㴚㴛㴜㴝㴞㴟㴠㴡㴢㴣㴤㴥㴦㴧㴨㴩㴪㴫㴬㴭㴮㴯㴰㴱㴲㴳㴴㴵㴶㴷㴸㴹㴺㴻㴼㴽㴾㴿㵀㵁㵂㵃㵄㵅㵆㵇㵈㵉㵊㵋㵌㵍㵎㵏㵐㵑㵒㵓㵔㵕㵖㵗㵘㵙㵚㵛㵜㵝㵞㵟㵠㵡㵢㵣㵤㵥㵦㵧㵨㵩㵪㵫㵬㵭㵮㵯㵰㵱㵲㵳㵴㵵㵶㵷㵸㵹㵺㵻㵼㵽㵾㵿㶀㶁㶂㶃㶄㶅㶆㶇㶈㶉㶊㶋㶌㶍㶎㶏㶐㶑㶒㶓㶔㶕㶖㶗㶘㶙㶚㶛㶜㶝㶞㶟㶠㶡㶢㶣㶤㶥㶦㶧㶨㶩㶪㶫㶬㶭㶮㶯㶰㶱㶲㶳㶴㶵㶶㶷㶸㶹㶺㶻㶼㶽㶾㶿㷀㷁㷂㷃㷄㷅㷆㷇㷈㷉㷊㷋㷌㷍㷎㷏㷐㷑㷒㷓㷔㷕㷖㷗㷘㷙㷚㷛㷜㷝㷞㷟㷠㷡㷢㷣㷤㷥㷦㷧㷨㷩㷪㷫㷬㷭㷮㷯㷰㷱㷲㷳㷴㷵㷶㷷㷸㷹㷺㷻㷼㷽㷾㷿㸀㸁㸂㸃㸄㸅㸆㸇㸈㸉㸊㸋㸌㸍㸎㸏㸐㸑㸒㸓㸔㸕㸖㸗㸘㸙㸚㸛㸜㸝㸞㸟㸠㸡㸢㸣㸤㸥㸦㸧㸨㸩㸪㸫㸬㸭㸮㸯㸰㸱㸲㸳㸴㸵㸶㸷㸸㸹㸺㸻㸼㸽㸾㸿㹀㹁㹂㹃㹄㹅㹆㹇㹈㹉㹊㹋㹌㹍㹎㹏㹐㹑㹒㹓㹔㹕㹖㹗㹘㹙㹚㹛㹜㹝㹞㹟㹠㹡㹢㹣㹤㹥㹦㹧㹨㹩㹪㹫㹬㹭㹮㹯㹰㹱㹲㹳㹴㹵㹶㹷㹸㹹㹺㹻㹼㹽㹾㹿㺀㺁㺂㺃㺄㺅㺆㺇㺈㺉㺊㺋㺌㺍㺎㺏㺐㺑㺒㺓㺔㺕㺖㺗㺘㺙㺚㺛㺜㺝㺞㺟㺠㺡㺢㺣㺤㺥㺦㺧㺨㺩㺪㺫㺬㺭㺮㺯㺰㺱㺲㺳㺴㺵㺶㺷㺸㺹㺺㺻㺼㺽㺾㺿㻀㻁㻂㻃㻄㻅㻆㻇㻈㻉㻊㻋㻌㻍㻎㻏㻐㻑㻒㻓㻔㻕㻖㻗㻘㻙㻚㻛㻜㻝㻞㻟㻠㻡㻢㻣㻤㻥㻦㻧㻨㻩㻪㻫㻬㻭㻮㻯㻰㻱㻲㻳㻴㻵㻶㻷㻸㻹㻺㻻㻼㻽㻾㻿㼀㼁㼂㼃㼄㼅㼆㼇㼈㼉㼊㼋㼌㼍㼎㼏㼐㼑㼒㼓㼔㼕㼖㼗㼘㼙㼚㼛㼜㼝㼞㼟㼠㼡㼢㼣㼤㼥㼦㼧㼨㼩㼪㼫㼬㼭㼮㼯㼰㼱㼲㼳㼴㼵㼶㼷㼸㼹㼺㼻㼼㼽㼾㼿㽀㽁㽂㽃㽄㽅㽆㽇㽈㽉㽊㽋㽌㽍㽎㽏㽐㽑㽒㽓㽔㽕㽖㽗㽘㽙㽚㽛㽜㽝㽞㽟㽠㽡㽢㽣㽤㽥㽦㽧㽨㽩㽪㽫㽬㽭㽮㽯㽰㽱㽲㽳㽴㽵㽶㽷㽸㽹㽺㽻㽼㽽㽾㽿㿀㿁㿂㿃㿄㿅㿆㿇㿈㿉㿊㿋㿌㿍㿎㿏㿐㿑㿒㿓㿔㿕㿖㿗㿘㿙㿚㿛㿜㿝㿞㿟㿠㿡㿢㿣㿤㿥㿦㿧㿨㿩㿪㿫㿬㿭㿮㿯㿰㿱㿲㿳㿴㿵㿶㿷㿸㿹㿺㿻㿼㿽㿾㿿

荒 庸子
チェロ・リサイタル 2024

珠玉の シネマ名曲集

SELECTION Vol.8

モリコーネに思いをよせて



ピアノ 山田武彦

日本を代表する女流チェリストが、贈る極上の映画名曲の花束
ソロや室内楽はもちろん、東京フィルをはじめとした国内主要オーケストラの客演首席奏者、さらに洗足学園音楽大学大学院教授などでの教育活動まで。その多岐に渡る活躍で知られるチェリストの荒庸子は、まさに才色兼備と言えるだろう。そんな彼女がザ・シンフォニーホールで2015年から毎年開催している人気シリーズ「珠玉のシネマ名曲SELECTION」が、8回目の開催を迎える。往年の名女優オーディリー・ヘップバーンを昔から敬愛している荒は、過去に映画の名曲を集めたCDを2枚発表。しなやかで、時に甘く、激しく、切なくと巧みに歌い分ける妙技で、それぞれの名画における誰も

が知る名場面を鮮やかに蘇らせてきた。
今回は「モリコーネに思いを寄せて」というテーマの下、2020年に91歳で亡くなったイタリアの巨匠エンニオ・モリコーネの名曲を中心に、荒ならではの創意とバラエティに富んだプログラムをお楽しみする。
予定目次に並ぶのは、「ニュー・シネマ・パラダイス」や「海の上のピアニスト」をはじめとした郷愁と洗練を備えた傑作を多数。他にも、チャップリン、ロータ・エデンの東など銀幕を彩ってきた忘れがたい名曲の花束。さらにクラシックからは、マスカーニ「カヴァレリア・ルスティカーナ」より前奏曲&間奏曲という、この上なく美しいナンバーまでカバーされているのが嬉しい。
このシリーズはまた、荒が演奏の前後に行うトークも大好評を博している。前述の通り、昔から映画が大好きということもあり、今回も各作品への思い入れやエピソードがたっぷり聞けそう。その際には、共演のピアニスト・山田武彦の至芸にも要注目。彼は国内外の名だたるソリストと室内楽を行ってきた日本有数の名手。過去には彼女の録音や同シリーズなどでも度々共演を重ねており、絶妙のタイミングと色合いで織り込む

[チェロ]荒 庸子 [ピアノ]山田武彦

モリコーネ:「ニュー・シネマ・パラダイス」より「愛のテーマ」、「海の上のピアニスト」より「愛を奏でて」、「ワンス・アポン・ア・タイム・イン・アメリカ」より「メイン・テーマ」、「ミッション」より「ガブリエルのオーボエ」、「マレーナ」より「メイン・テーマ」、「アンタッチャブル」より「メイン・テーマ」/ヤング:「80日間世界一周」より「アラウンド・ザ・ワールド」/メンケン:「美女と野獣」より「美女と野獣」/チャップリン:「ライムライト」より「エターナリー」、「モダン・タイムス」より「スマイル」/ロータ:「道」より「ジェルソミーナのテーマ」/マルシッチ:「昼下りの情事」より「魅惑のワルツ」/ローゼンマン:「エデンの東」より「メイン・テーマ」/マスカーニ:「カヴァレリア・ルスティカーナ」より「前奏曲」「間奏曲」

2024.3/30(土) 2:00PM

全席指定 4,400円(税込)

[お問い合わせ] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催] ザ・シンフォニーホール

先行予約: 9/21 (木) 一般発売: 9/24 (日)

ピアノ即興は、毎回会場を沸かせ、公演の魅力を大いに高めている。
過去のインタビューで、「心の根っこ、と書いて心根(こころね)と読むでしよう?心の奥底と言う意味のとても好きな言葉なんです。演奏するということは、お客様と私が同じ時間や空気を共有するということ。ですからその大切な時間には私もお客様の心根に響くように、心を込めて演奏したいと強く思っています」と語っていた荒。盟友・山田と共に贈る至福のひとときに、今回も心ゆくまで酔いしれよう。
(文 渡辺謙太郎)

Passion in Blue

川井郁子

～情熱のヴァイオリン～

シンフォニックコンサート 2024



情熱の才色兼備ヴァイオリニストが贈る優雅で
変幻自在のひとつとき

ジャンルを超えて多彩に活躍する才色兼備ヴァイオリニスト・川井郁子。唯一無二の表現力と、その美貌から「ヴァイオリンの女神」や「情熱のヴァイオリニスト」と称えられている。

2020年にデビュー20周年を迎えた彼女は、「シンフォニックコンサート」と題した公演を各地で開催。そこではオーケストラの弾き振りに初挑戦したり、和楽器と西洋楽器を組み合わせて映像と立体的にコラボレーションしたりと、あらゆるファンが楽しめる演出が多くの支持を得ている。ザ・シンフォニーホールでは、17年から毎年「シンフォニックコンサート」を開催し、コロナ禍に陥った20年2月29日においてもチケットを払い戻しせずに来場した約400人のファンを魅了し、音楽の大切さを伝えた。

24年3月に行われる今回の公演は、タンゴの革命児ピアソラの傑作「リベルタンゴ」「ブエノスアイレスの冬」「オブリヴィオン」など、川井の音楽性にぴったりの情熱と郷愁のナンバーを多数披露予定。自らの新たな音楽表現を常に精力的に創造し、磨き続ける彼女の「現在」を心ゆくまで味わおう！

(文 渡辺謙太郎)

[ヴァイオリン]川井郁子 ほか

ピアノ：ジャンヌ・イ・ポール、オブリヴィオン、ブエノスアイレスの冬、孤独
リベルタンゴ ほか

2024.3/22(金) 7:00PM

全席指定 S 6,500円 A 5,000円 (税込)

[お問い合わせ]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催]ザ・シンフォニーホール

先行予約：9/21(木) 一般発売：9/24(日)

The Symphony Hall

クリスマス オルガンコンサート 2023

オルガン 大木麻理



2023年の総決算は、壮麗な
オルガンの調べとともに！

この一年をしめくくる最後の月12月。今年を振り返り新たな2024年の到来に向けて、楽しい時間を過ごしたいところだ。そんな季節にぴったりなのが、ザ・シンフォニーホール恒例の人気企画「クリスマスオルガンコンサート」。オルガンはまさにホールの華である。同ホールの楽器はスイス・クーン社製で、3732本のパイプを通じて、荘厳な響きから、繊細な音色まで表現でき、多彩なレパートリーと相性がいい。

12月の風物詩として、多くのファンに親しまれてきたクリスマスオルガンコンサートだが、今回は各所で活躍中の人気奏者の大木麻理を迎えて開催される。日本人として初めてブクステフーデ国際コンクールを制し



た大木は、ソロはもちろんオーケストラ共演など、幅広い活動を展開してきた。去る7月には、ザ・シンフォニーホールの「プロジェクションマッピング×パイプオルガン新超絶のオペラ座の怪人(満席!）」にも出演。ドラマティックに映写される視覚イメージに合わせて、映画やミュージカルの人気ナンバーを華麗に演奏して、好評を得たのは記憶に新しい。大のミュージカル・ファンで、オペラや演劇も大好きという大木は、まるで劇場にでもいるかのよう臨場感たっぷりオルガンを鳴らすすべにも長けた名手である。12月のコンサートでも、その卓越した手腕で音楽ファンを楽しませてくれること間違いない。

クリスマスはもともとキリスト教の行事で、キリストの生誕に由来する。やはり敬虔な気分も味わいたいところだ。今回はそういった宗教的な心安らかな曲から、思わず一緒に口ずさみたくなるポピュラーなクリスマスソングまで、誰もが楽しめるレパートリーを披露してくれる予定だ。バッハの《主よ、人の望みの喜びよ》は、バッハの教会カンタータの一節で、清らかな雰囲気満ちた名作だ。レーガールの《クリスマスの夢》は、《きよしこの夜》にもとづく洒落な作品で、オルガンならではの壮麗な響きにも期待したい。アンダーソンの《クリスマスフェスティバル》は、

種々のクリスマスソングのオンパレード！2023年のしめくくりを飾るにふさわしい一夜となる。録音や配信で気軽に音楽が聴ける時代だが、オルガンの響きはホールの中で聴いてこそ、その真の魅力を味わえるのではないだろうか。独特のライブ感や体全体を包み込むスケールの大きい響きは唯一無二の体験になる。海外の奏者もこぞ、「素晴らしい楽器」と太鼓判を押しているザ・シンフォニーホールのオルガンを、希代の名器を堪能するチャンスをどうぞお見逃しなく！

(文 伊藤制子)

[オルガン]大木麻理

カルク=エラート：ドラムとシンバルをもて、主をほめたたえよ/バッハ：主よ、人の望みの喜びよ BWV147/バッハ=グノー：アヴェ・マリア/バッハ：いざ来ませ、異邦人の救い主よ BWV659/バッハ：イタリヤ協奏曲 BWV971/レーガール：クリスマスの夢 op.17-9/フランク：「オルガニスト」より古いノエル/ヴァイロフ：カッチーニのアヴェ・マリア/アンダーソン：クリスマスフェスティバル

2023.12/7(木) 7:00PM

全席指定 3,000円(税込) ※休憩なし。約60分のコンサートです。

[お問い合わせ]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催]ザ・シンフォニーホール

先行予約：9/21(木) 一般発売：9/24(日)

出演



大阪交響楽団



指揮

河合尚市



スペシャルゲスト

北村英治
(CL)

アロージャズオーケストラ 第120回 定期演奏会

Arrow Jazz Orchestra

アロージャズオーケストラ & 大阪交響楽団 異ジャンルオーケストラの共演

since 1958

予定曲

- My Fair Lady メドレー
- 貴方の思い出
- Sing Sing Sing 他

2023.11月7日(火) 開場 18:00 / 開演 19:00

ザ・シンフォニーホール

全席指定 7,000円(税込) / 学生席 2,000円(大学生以下・当日座席指定・グリークス HPのみ取扱)

● ザ・シンフォニー チケットセンター ● チケットぴあ(Pコード: 250-033)

● ローソンチケット(Lコード: 54813) ● イープラス ● CN プレイガイド ● グリークス

チケット発売中

主催：株式会社サウンドニュー お申込み・お問合せ：グリークス 06-6966-6555(土日祝除く 平日 10時～16時)

4年ぶりの
来日!

苦境を乗り越え、世界に癒しを届ける
ウクライナ国立フィルハーモニー交響楽団
(旧キエフ)

The Symphony Hall

ジルベスターコンサート

2023.12.31

ニューイヤーコンサート

2024.1.1

「戦争はすべてを破壊する。
でも希望を失わせることはできません」

(M.ジャジュラ)

ウクライナ国立フィルが今年末、4年ぶりに来日する。

東欧で最高レベルと言われる同楽団を率いる
指揮者ミコラ・ジャジュラに思いを聞いた



指揮 ミコラ・ジャジュラ Special Interview



ソプラノ
テチアナ・ガニーナ
アルト
アンジェリーナ・シュヴァツカ
テノール
ドミトロ・クズミン
バリトン
セルギイ・マゲラ

指揮者活動の出発点は日本。小澤
征爾さんに招かれ、米国で研修も
—— オケとして、前回から4年ぶり
の来日公演になりますね。

すばらしい聴衆とコンサート
ホールに恵まれた日本に、最高の
状態で行けるよう準備を進めて
います。今回の公演はとても特
別なものです。我が国は、昨年
2月のロシアによる侵攻以来、ひ
どい戦争状態にあり、人々の気持
ちも揺れ動いています。そんな
なかで生活や音楽について私た
ちがどう感じているのかを伝え
たい。その意味でも非常に重要
な来日公演になります。ウクラ
イナ国立フィルハーモニー交響
楽団は、国立歌劇場のオーケスト
ラとは別組織、別メンバーで構成
しています。団員は約1000人。
歌劇場には400人以上います。
国立フィルの団員の約8割は
1995年の創設当初から同じ
です。私は、国立フィル、歌劇場
をともに指揮していますが、この
オケは私の人生にとって大きな
ものを占めています。創設時に
は、日本から楽器の寄贈を受け、
今でも使われています。

—— マエストロご自身も、日本との
つながりが深いそうですね。

80年代後半に民音の指揮者コン
クール(現・東京国際音楽コンク
ール)に入賞したことが指揮者とし

戦争が始まって以来、ロシアの
作曲家の作品、ソリストと演奏す
ることは私にはできません。これ
は私の個人的な決断であり、なぜ
なのかと言われても説明できるも
のではありません。私のファース
トネームは、ロシア語表記ではニ
コライですが、私はウクライナ人
なので、今回の来日では、ウクラ
イナ語の表記であるミコラを使っ
ています。団員の中には戦争が始
まってから軍に志願した人もいま

すが、政府はオーケストラの活動
によって我々の文化的な活動を維
持することが大切であることを理
解してくれています。

—— 戦争が続くなかで、首都キーウ
での演奏会はどうに行われている
のでしょうか。

国立歌劇場で「椿姫」を公演中、
終演7分前に空襲警報があり、演
奏をそこで中止したことがあります。
リハーサルが警報で中断する
こともあります。そんな中で勇気
つけられることは、国立フィルの
演奏会がいつも満席になること
です。地下のシェルターに避難する
スペースの関係でチケットは全席
の半分しか売れませんが完売にな
る。キーウに住む人々にとって音
楽は必要なものです。さらに重要
なのは、このひどい戦争に勝利し
た後、ウクライナの復興を考えた
ときに我々が舞台上で演奏する音
楽こそが武器になるということだ
す。そのときが来ることを待ち望
んでいます。

すばらしいホールの響きと日本語
のメロディ、いつも楽しみに
—— 来日中、マエストロの楽しみ方
を教えてください。

来日公演の楽しみは、演奏する
ホールの音響がすばらしいこと
です。どのホールも信じられないほ
ど美しい響きがある。これは音楽

家にとって本当に大切なことで
す。いい音響があれば、音楽を通
じて我々が伝えたいことが伝わり
やすくなる。日本のすばらしい
ホールで演奏することは、オケに
とって質を高めるステップになり
ます。オケは、来日公演をする度
に、その後、よい方向に変化してい
ることを実感します。このオケの
質をさらに上げていくためにも来
日公演は重要だと考えています。
もちろん食べ物や有名な観光地
を訪れることも楽しみですが、私
にとつて興味深いのは日本語の音
です。それをいつも楽しんでいま
す。私には日本語はわかりません
が、とても特別なメロディがあ
る。日本はウクライナよりも小さ
な国(ウクライナの国土面積は日
本の約1.6倍の60万3700平方キ
ロ)ですが、そこには我々とは異な
る大きな文化がある。いつもそれ
を楽しみにしています。

—— 日本の聴衆のみなさんにメッ
セージをお願いします。

戦争はすべてを破壊する。でも
希望を失わせることはできませ
ん。日本の聴衆にも希望こそが大
切であること、希望こそが我々の
進む最善の道であることを伝え
たいと思います。そして、みなさ
んの人生も、希望に満ちた幸せな
ものになることを願っています。
(文 石合カール朝日新聞編集委員)

ザ・シンフォニーホール ジルベスターコンサート2023
[指揮]ミコラ・ジャジュラ [ソプラノ]テチアナ・ガニーナ
[アルト]アンジェリーナ・シュヴァツカ [テノール]ドミトロ・クズミン
[バリトン]セルギイ・マゲラ
[管弦楽]ウクライナ国立フィルハーモニー交響楽団
ビゼー：歌劇「カルメン」より「ハバネラ」「セギデーリャと二重唱」
ヴェルディ：歌劇「椿姫」より乾杯の歌／ドヴォルザーク：交響曲 第9番「新世界より」
第4楽章／J. シュトラウス一世：ラデツキー行進曲 ほか
2023.12.31(日) 5:00PM
S 12,000円 A 9,000円 B 6,000円(税込)
[お問い合わせ]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333
[主催]ザ・シンフォニーホール

ザ・シンフォニーホール ニューイヤーコンサート2024
[指揮]ミコラ・ジャジュラ [ソプラノ]テチアナ・ガニーナ
[アルト]アンジェリーナ・シュヴァツカ [テノール]ドミトロ・クズミン
[バリトン]セルギイ・マゲラ
[管弦楽]ウクライナ国立フィルハーモニー交響楽団
J. シュトラウス二世：美しく青きドナウ、春の声
J. シュトラウス一世：ラデツキー行進曲／ヴェルディ：歌劇「椿姫」より乾杯の歌
ドヴォルザーク：交響曲 第9番「新世界より」第4楽章 ほか
2024.1.1(月) 3:00PM
S 12,000円 A 9,000円 B 6,000円(税込)
[お問い合わせ]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333
[主催]ザ・シンフォニーホール



ミュージックディレクター 菊池寿人

The Symphony Hall

BIG BAND

ザ・シンフォニーホール・ビッグバンド vol.21

ダンディズム

日本屈指のジャズ奏者が
豪華ゲストと贈る一期一会の公演!!

2018年にザ・シンフォニーホールで始動。
日本最高レベルと称されるジャズ・ビッグ・バンドが、
満を持して21回目の公演を行う!

スペシャルゲスト
サククス

本田雅人

Interview

カリスマサククス奏者・本田雅人が5年ぶりにゲストで登場!
クラシックのホールで本格的なビッグ・バンドが繰り広げるゴージャスなサウンドの数々。トランペットの名手・菊池寿人をリーダーとして、いずれもソロやバンドのリーダーとして活躍する日本屈指の名手16名を集めたThe Symphony Hall Big Band(以下TSHBB)が、来る12月4日に21回目の公演を行う。

「ダンディズム」の公演タイトルで行う今回は、ゲストにサククスの巨匠・本田雅人を迎える。学生時代から本格的なプロ活動を開始した彼は、1985年から原信夫とシャープス・アンド・フラッツに参加。その後、90年代にはT-SQUAREのメンバーとして卓越した技術を披露し、「ハイパーサククスプレイヤー」と讃えられた。また、97年にT-SQUARE退団後は自身のビッグ・バンドB・B・STATIONを経て、以後はソロで活動するなど、その活躍は多岐に渡る。

今回はそんな日本サククス界の至宝に、TSHBBとの共演に向けた意気込を語ってもらった。

本田がTSHBBと共演するのは、2018年に続いて二度目になると言う。

『コロナ禍ですべてが一時停止

してしまった感じで、5年も経ったとは信じられません。自分のビッグ・バンドは、教えた子たちなどへのチャンスの場という意味もあって、メンバーを固定しない若手中心。今回のように熟練した名手揃いの固定メンバーと共演できるのは、いつもと違う信頼感や刺激があつて嬉しいです』

前回はザ・シンフォニーホールでの初演奏だったという本田は、このホールの音響を次のように絶賛する。

『僕の活動の中心はPAを使ったライブハウスなので、5年前にザ・シンフォニーホールで初めて吹いた時は、あまりに豊かな音響で驚きました。ですから、また呼んでいただけ、とても嬉しいですし、光栄です。生音が主体のサウンドをお客様に届ける喜びを感じながら、自分でも普段とは違うアコースティックを楽しみたいです』

繰り返し演奏してきた十八番の自作曲や有名曲がずらり!

今回の予定演奏には「Theme For B.B.S.」「TRUTH」「スベイン」「宝島」オーメンズ・オブ・ラブ・メドレー」など、本田及びジャズ・ファン垂涎のナンバーがずらりと並ぶ。

「Theme」は、T-SQUAREを脱退した直後の97年に書いた自作曲。若者が集まるビッグ・バンド

のステーション(駅)をイメージしたので、スイングの王道と言えるカウント・ベイシー風のわかりやすいナンバーになっています。

T-SQUAREの最も有名な作品の一つで、F-1のテーマ曲としてもおなじみの「TRUTH」。これまでにおそらく2、3000回は吹いていて、自分としては正直飽きている部分もあつて。でも、その苦痛を越えると、普通になって、今ではやるのが生き甲斐になってきましたね(笑)。

「スベイン」は、作曲者のチック・コリアが21年に亡くなったことで、世界的にも演奏機会が増えていきます。僕は普段この曲を、フルート、ソプラノ・サククス、アルト・サククスの順で吹いているのですが、今回共演するTSHBBやザ・シンフォニーホールの音響なども踏まえながら、この傑作を持つパワーを最大限に出せる楽器を選びたいと思います。

「宝島」は「TRUTH」と並ぶT-SQUAREの代表作ですが、作曲家・和泉宏隆さんのオリジナルとは別に、真島俊夫さんが吹奏楽用に編曲した版(原曲よりもテンポが速いラテン風の曲想で、真島オリジナルの旋律も加筆されている)も存在。今回は、エリック・ミヤシロさんが両者の良さを巧みに組み合わせアレンジでお届けしますので、お楽しみに」

[演奏]The Symphony Hall Big Band
[スペシャル ゲスト]本田雅人 (サククス)

和泉宏隆: 宝島〜オーメンズ・オブ・ラブ メドレー〜
安藤まさひろ: TRUTH/チック・コリア: スベイン
本田雅人: Theme For B.B.S. ほか

2023.12/4(月) 7:00PM

一般 7,500円 小学生以上18歳以下 3,300円(税込)

[お問い合わせ]大阪アートエージェンシー 06-6372-4583

[主催]ザ・シンフォニーホール

発売中

コロナ禍を経た現在は、ブルーノート東京オールスター・ジャズ・オーケストラ、古巣T-SQUAREとの共演、角松敏生ライブ・ツアーへの参加など、多忙な日々が続く本田。昨年は還暦を迎え、ブルーノート東京で2日連続の記念ライブを行い、縦横無尽の活躍ぶりでファンを魅了したことも話題になった。その後も洗練を重ねながら疾走感も増す巨匠が、最高の共演者たちと共にザ・シンフォニーホールで見せる、究極のダンディズムを、くれぐれもお聴き逃しなく!

(取材・文 渡辺謙太郎)



THE SOULMATIC'S ディレクター
池末 信

大いに盛り上がるステージとなる
ことでしょう。

クラシック専用ホールでは考えられない舞台演出！

ザ・シンフォニーホールは新時代
に沿ったビジュアル込みのステージ
パフォーマンスを取り入れ、年毎に
進化を続けています。ザ・シンフォ
ニーホールに行ったことがない！
コンサートが初めて！という方に

もどつつきやすい、この『ザ・シン
フォニーホールスーパーブラス』は、
《4歳以上入場可》、《指揮者・喜多弘
悦の軽快なお話付き》、《壮大なプロ
ジェクションマッピング》、そして会
場全体を包み込む《迫力満点のサウ
ンド》が最大の魅力となっています。

昨年の感動が忘れられないあな
た、そしてまだ観たことのない方
も、是非とも年忘れの思い出に残る
ひとときを体感しに来て下さい。

「めっちゃ楽しい！」「ワクワクのひ
とときをお届けします。ザ・シン
フォニーホール一押しのスーパ
ーブラス「年末スペシャルコンサ
ート」もちろん一人でも十分楽しめ
ますが、12月30日はどうぞ大切な人
と一緒に、ザ・シンフォニーホール
でお過ごし下さい。

[指揮] 喜多弘悦
[演奏] The Symphony Hall Super Brass
[ゴスペル] 池末 信 × THE SOULMATIC'S

ハレルヤ／聖者の行進／You can't stop the beat／永遠（オリジナル）／
映画「天使にラブソングを」メドレー ほか

2023.12/30(土) 3:00PM

一般 6,600円 高校生以下(4~18歳) 3,300円(税込)

※4歳のお子様からご入場いただけます

※プロジェクションマッピング付き

[お問い合わせ] 大阪アーティスト協会 050-5510-9645

[主催] ザ・シンフォニーホール

発売中

予 告 大人気！ ザ・シンフォニーホール スーパーブラス

来年のバレンタイン・デーは、**愛**をテーマに
ミュージカルや映画の名曲の数々を、
迫力満点のブラスサウンドでお贈りします。

《ブラスdeミュージカル》～ハッピー・バレンタイン♡

[指揮・お話] 喜多弘悦

[演奏] The Symphony Hall Super Brass

2024. 2/14(水) 7:00PM

[全席指定] 一般 6,600円 高校生以下(4~18歳) 3,300円(税込)

※4歳のお子様からご入場いただけます ※プロジェクションマッピング付き

[お問い合わせ] 大阪アーティスト協会 050-5510-9645

[主催] ザ・シンフォニーホール

一般発売：10/27(金)



壮大なプロジェクションマッピングと共に

指揮 喜多弘悦



迫力のブラスサウンドと魂揺さぶ
るゴスペルのハーモニー

「ザ・シンフォニーホールスーパ
ーブラス」は、「オオサカ・シオン・ウイ
ンド・オーケストラ」と「ザ・シンフォ
ニーホール」の共同企画により昨年7
月に始動し、話題のプロジェクション
マッピングとともに五感を刺激する
エンターテインメント・ショーとして
これまでにないザ・シンフォニーホ
ールの新時代のコンサートスタイルを
築いています。1年目にして『ザ・シン
フォニーホールスーパーブラス』は
主催公演だけでなく、企業団体の
主催公演にも招かれ、今最も注目
を集めているウインド・オーケス
トラの一つに急成長しました。

指揮者 喜多弘悦が最も大切に
する『めっちゃ楽しい！』をモッ
トとし、年4回の公演を行って
おり、12月30日(土)は「年末スペシ
ャルコンサート」として昨年大好評頂
きました、池末信率いるTHE S
OULMATIC'Sの《ゴスペル
音楽》をお届けします。スーパ
ーブラスの迫力満点のサウンドと、ゴ
スペルのパワー溢れる歌声のハー
モニーは、まさに心揺さぶる感動
のステージです！

さらに今年の聴き所は、ゴスペル
の中でもとても親しまれている映
画「天使にラブソングを」から抜粋
してメドレーでお届けします。ス
ーパーブラスの特徴を存分に生かし
た石戸谷 斉による新たな編曲版で、

ザ・シンフォニーホール
スーパーブラスがメディアに
取り上げられました！
動画はコチラ▶



オールスター 紅白 歌オペラ 2023

令和5年年越しスペシャル!!
日本の日の出を願う

年末の公演は関西のスター歌手が一堂に会する夢の対決で決まり!

年末恒例の人気公演「オールスター紅白オペラ歌合戦」が開催されるのは今年で5度目。誰もが知る傑作オペラアリアを関西にゆかりの深いスター歌手が、男女で紅白に分かれて華々しく歌い競う。年に一度の豪華公演だ。今年是一部で紅白混声の新たな試みも行われるため、期待と注目はさらに高まる。

演奏は今回も、若手実力派の栗辻聡が指揮する大阪響&同響コーラスで、歌手陣は男女計16人が登場予定。その陣容と聴きどころは以下の通りだ。まずは紅組。

(S)は、洗練された美声で、シャルパンティエ「その日から」を高らかに披露。第九や宗教曲で度々ソロを務める才媛・四方典子(S)が伸びやかに歌うのは、J・シュトラウスⅡ世「故郷の調べ」だ。

観客も含めた会場全体で審査!今年は紅白混声の新たな試みも!!
続いては白組。
大阪音楽大学教授&ベルカント・オペラの大家・田中勉(B)は、十八番のレオンカヴァッロ「御免なすって、皆さん」を披露。
これまでに約100のオペラに主演したベテラン・小餅谷哲男(T)が甘美に歌うのは、レハール「君こそわが心のすべて」だ。
知性派でサントリー「二万人の第九」合唱指導者でもある西尾岳史(B)は、ヴェルディ「夢が現実か」を。同じく知性派で、広範なレパートリーを誇る萩原寛明(B)は、レハール「お祖国よ...マクシムへいったが」

を、各々表情豊かに歌唱。

音楽家と実業家の両面で長年第一線を走る松澤政也(B)は、そのイメージにぴったりのビゼー「闘牛士の歌」を堂々と歌い上げる。
そして注目の新企画である男女混声。

関西二期会などで様々なオペラで可憐なヒロインを務める松浦優(S)は、合唱指導者としても活躍する実力派・秋本靖仁(T)と、ビゼー「母の便り」を聞かせてよ」で共演する。

宝塚音楽学校講師でもある木澤佐江子(S)となみはや国体で独唱を披露した田中友輝子(MS)。前述の秋本と同じく合唱指導にも力を注ぐ大谷

圭介・(B)と水口健次(T)は、ヴェルディ「愛する美しい乙女よ」を華麗に織り上げる。
今回はさらに、以上のソリストだけでなく、大阪響コーラスが男女混声として参戦。壮麗に歌われるロイド・ウェッバー「マスカレード」とマスカリーニ「復活祭の合唱」は、公演のハイライトの一つになることだろう。

そんな聴きどころ盛り沢山の歌合戦の審査には、聴き手の皆さんにもご参加頂けるので、ぜひご来場を!!
(文 渡辺謙太郎)

[出演]「紅組」 齊藤言子、木澤佐江子、田中友輝子、並河寿美、野口真瑚、堀口莉絵、松浦優、四方典子
「白組」 田中勉、秋本靖仁、大谷圭介、小餅谷哲男、西尾岳史、萩原寛明、松澤政也、水口健次
[指揮] 栗辻聡 [管弦楽] 大阪交響楽団
[合唱] 大阪響コーラス [合唱指揮] 中村貴志

2023.12/26(火) 6:30PM
S 8,800円 A 7,700円(税込)

発売中

[お問い合わせ] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333
[主催] ザ・シンフォニーホール [共催] 公益社団法人大阪交響楽団
[後援] 一般社団法人日本クラシック音楽事業協会

公演プログラム

■...紅組 □...白組 ▲...紅白混声

J・シュトラウスⅡ世 喜歌劇「こうもり」より 序曲			
萩原 寛明	レハール	喜歌劇「メリー・ウィドウ」より ダニロ登場の歌「お祖国よ...マクシムへいったが」	
四方 典子	J・シュトラウスⅡ世	喜歌劇「こうもり」より チャールダーシュ「故郷の調べ」	
野口 真瑚	カールマン	喜歌劇「チャールダーシュの女王」より 「ハイア、ハイア 山こそわが故郷」	
小餅谷 哲男	レハール	喜歌劇「微笑みの国」より 「君こそわが心のすべて」	
木澤 佐江子 田中 友輝子 水口 健次 大谷 圭介	ヴェルディ	歌劇「リゴレット」より 四重唱「愛する美しい乙女よ」	
大坂響コーラス ロイド・ウェッバー ミュージカル「オペラ座の怪人」より「マスカレード」			
休憩			
大坂響コーラス	マスカリーニ	歌劇「カヴァレリア・ルスティカーナ」より 「復活祭の合唱」	
堀口 莉絵 / 合唱	ビゼー	歌劇「カルメン」より 「ハバネラ(恋は野の鳥)」	
松澤 政也 / 合唱	ビゼー	歌劇「カルメン」より 「闘牛士の歌」	
松浦 優 秋本 靖仁	ビゼー	歌劇「カルメン」より 手紙の二重唱「母の便りを聞かせてよ」	
並河 寿美	ヴェルディ	歌劇「運命の力」より 「神よ、平和を与えたまえ」	
西尾 岳史	ヴェルディ	歌劇「ファルスタッフ」より 「夢が現実か」	
田中 勉	レオンカヴァッロ	歌劇「道化師」より プロローグ「御免なすって、皆さん」	
齊藤 言子	シャルパンティエ	歌劇「ルイズ」より 「その日から」	

紅組

★...キャプテン (※五十音順)



[ソプラノ] 齊藤 言子 ★



[ソプラノ] 木澤 佐江子



[メゾソプラノ] 田中 友輝子



[ソプラノ] 並河 寿美



[ソプラノ] 野口 真瑚



[メゾソプラノ] 堀口 莉絵



[ソプラノ] 松浦 優



[ソプラノ] 四方 典子

白組

★...キャプテン (※五十音順)



[バリトン] 田中 勉 ★



[テノール] 秋本 靖仁



[バリトン] 大谷 圭介



[テノール] 小餅谷 哲男



[バリトン] 西尾 岳史



[バリトン] 萩原 寛明



[バリトン] 松澤 政也



[テノール] 水口 健次



若きホープ、郷古 廉と佐藤晴真によるブラームスの二重協奏曲！

飯森範親&日本センチュリー交響楽団が若い世代の名手たちと共演し、オーケストラの魅力を披露する「Best of Orchestra 2023」。今回、このコンサートでは、ヴァイオリンとチェロがフィーチャーされ、郷古 廉と佐藤晴真が招かれる。

ヴァイオリンの郷古 廉は、2006年のユーディ・メニューイン青少年国際ヴァイオリン・コンクール・ジュニア部門で第1位を獲得し、2013年のティボール・ヴァルガ・シオン国際ヴァイオリン・コンクールで優勝。ウィーンでバヴェル・ヴェルニコフに師事し、現在は、ソリストとして活躍するほか、NHK交響楽団のゲスト・コンサートマスターも



管弦楽 日本センチュリー交響楽団 © Masaharu Eguchi

務める。チェロの佐藤晴真は、2018年、ルトスワフスキ国際チェロ・コンクールで優勝し、2019年には最難関といわれるミュンヘン国際音楽コンクールで第1位を獲得。ベルリン芸術大学で学び、2020年にはドイツ・グラモフォンからデビュー・アルバムをリリースするなど、国際的に活躍している。

この二人の独奏による、ブラームスの「ヴァイオリンとチェロのための二重協奏曲」が聴けるとは何という贅沢であろうか。ブラームスの二重協奏曲は、二人のソリストのつり合いが取れることが難しいが、今回は、技量はもちろん、年齢、経歴とも、非常にバランスが良い。キレがよく、美しい郷古のヴァイオリンとスケールの大きな佐藤のチェロ。若い二人が火花を散らし合い、語らい合い、素晴らしいアンサンブルを聴かせてくれるだろう。

今回は、それだけではない。ドヴォルザークの交響曲第9番「新世界より」では、郷古 廉がコンサートマスターの席に座り、佐藤晴真が首席チェロ奏者を務めるというスペシャルなコラボレーションも実現する。とりわけ第2楽章の後半のコンサートマスターと首席チェロ奏者による二重奏が聴きものだ。もちろん、郷古のコンサートマスターとしての能力の高さはN響で実証済みである。指揮を執る飯森範親は、2014

年に日本センチュリー交響楽団の首席指揮者に就任。現在は、バシフィツクフィルハーモニア東京音楽監督、群馬交響楽団常任指揮者、いずみシンフォニエッタ大阪常任指揮者を兼務するなど、まさに引つ張りだこのマエストロである。スコアの読みが深く、協奏曲での独奏者へのサポートも巧み。ドヴォルザークの交響曲第9番「新世界より」では、郷古、佐藤の力も借りて、聴き慣れた名曲を新鮮に響かせるに違いない。そして、10年来のパートナーである日本センチュリー響と、オーケストラの醍醐味を味わわせてくれることであろう。

(文 山田治生)

[指揮]飯森範親 [ヴァイオリン]郷古 廉 [チェロ]佐藤晴真
[管弦楽]日本センチュリー交響楽団

ドヴォルザーク：「謝肉祭」序曲 op.92
ブラームス：ヴァイオリンとチェロのための二重協奏曲 イ短調 op.102
ドヴォルザーク：交響曲 第9番 ホ短調 op.95「新世界より」

2023.10/29 (日) 2:00PM

全席指定 S 7,700円 A 6,600円 B 5,500円(税込)

[お問い合わせ] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催]日本センチュリー交響楽団/ザ・シンフォニーホール

発売中

Czech Philharmonic

チェコ・フィルハーモニー管弦楽団

4年ぶりの来日！ドヴォルザークも指揮した
東欧の名門チェコ・フィル

©PetraHajská

ドヴォルザークの自家チェコ・フィルの奏でるボヘミアの調べ

東欧のオーケストラの最高峰、チェコ・フィルハーモニー管弦楽団と首席指揮者のセミヨン・ビシュコフが、4年ぶりにザ・シンフォニーホールに登場する。

今秋の公演は、オール・ドヴォルザーク・プログラム。ドヴォルザークの作品は、まさにチェコ・フィルのお家芸である。両者の関係は深く、1896年に初めて行われたチェコ・フィルのコンサートで、彼はタクトをとった。そのホールは、ドヴォルザーク・ホールと呼ばれ、同楽団の本拠地となっている。

《「オテロ」序曲》は、チェコ・フィルの第1回のコンサートで演奏された1曲。この序曲は、アメリカへ渡る直前に書かれた。演奏会用序曲三部作「自然、人生、愛」の第1曲で、シエイクスピアの戯曲「オセロ」からインスピレーションを得た音楽。続いて、恩人ブラームスが評価した《チェコ協奏曲》は、アメリカ時代の創作。その豊かなメロ

ディは、聴く者に郷愁を抱かせる。チェコ独奏を務めるのは、ヨーロッパの楽壇が注目するスベインの俊才、バブロ・フェランドス。女王アンネンゾフイー・ムターが絶賛する彼の演奏には、多くの音楽ファンから熱い視線が注がれる。プログラム後半は、《交響曲 第8番》。彼の交響曲のなかで最も完成度の高い作品のひとつであり、すみずみまで伸びやかで、ドヴォルザークの創意があふれ出たかのような音楽。それまでの彼の交響曲には、ドイツ・ロマン派の影響が強く感じられるが、第8番はメロディやリズムなどにボヘミアのエッセンスが彩られ、自然な情感に満ちている。

世界のオーケストラで最もドヴォルザーク演奏の伝統を継承したチェコ・フィルと、熱いパッション全開のビシュコフとのコンビによるドヴォルザークに、胸が高鳴る。

(文 道下 京子)

指揮 セミヨン・ビシュコフ
Semyon Bychkov

©PetraHajská

[指揮] セミヨン・ビシュコフ [チェロ] バブロ・フェランドス
[管弦楽] チェコ・フィルハーモニー管弦楽団

《オール・ドヴォルザーク・プログラム》

「オテロ」序曲 op.93
チェコ協奏曲 口短調 op.104
交響曲 第8番 ト長調 op.88

2023.11/3 (金・祝) 3:00PM

S 24,200円 A 20,900円 B 16,500円 (税込)

[お問い合わせ] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催] ザ・シンフォニーホール

発売中

チェロ
バブロ・フェランドス

Pablo
Ferrández

©IGOR STUDIO



©Michael Zapf

管弦楽 NDRエルブフィルハーモニー管弦楽団

——ピアノ協奏曲第1番の魅力はどこに感じますか？
もともと短調の作品が好きで、2番よりも1番に魅力を感じます。短調の中に時々現れる長調がとくに好きなんです。讃美歌のような美しさがある2楽章など、弾いていると

れ以上に大切な作曲家になると感じる」と言われたのです。実はパレチニ先生も、ご自身がショパンコンクールに入賞した後、ルービンシュタインの前でブラームスのop.117を弾いたら同じように言われたそうで、「50年後、自分の弟子に同じ言葉を言う日が来るとは思わなかった」とおっしゃっていました。
他にもブラームスが合うと言ってくださる方が多く、それも自信になって、作品のすばらしさをもっと知りたい気持ちが高まりました。
今年、ブラームスの交響曲第1番を指揮するのですが、譜読みしている、自分の人生に重なるものを感じる瞬間がたくさんあります。直感的に理解できる作曲家の一人です。

——ソリストとして共演すると指揮の勉強にもなりそうですよね。
無料の授業ですよ！リハーサルはとくに大切な時間で、多くのことを吸収できます。
今回もしっかり見学して勉強したいです。ザ・シンフォニーホールは、響きが非常に良く、とても弾きやすい印象。そんなホールで由緒あるNDRと共演できる機会をとにかく楽しみたいと思います。

最後に、音楽家としてこうありたいという想いがあればお聞かせください。
昔から一貫して思っているのは、優しい音楽家、懐の深い音楽家になりたいということです。

【指揮】アラン・ギルバート 【ピアノ】反田恭平
【管弦楽】NDRエルブフィルハーモニー管弦楽団

《オール・ブラームス・プログラム》
ピアノ協奏曲 第1番 二短調 op.15
交響曲 第2番 二長調 op.73
2023. 11/22 (水) 7:00PM
S 22,000円 A 19,800円 B 15,400円(税込)
【お問い合わせ】ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333
【主催】ザ・シンフォニーホール

発売中

大和証券グループ Presents

NDR Elbphilharmonie Orchester エルブフィルハーモニー管弦楽団 (旧ハンブルク北ドイツ放送交響楽団) 大阪公演

心に近い作曲家、ブラームス
協奏曲1番は今の自分によく合っている
人気ピアニストであり、指揮者としても活動の場を広げる反田恭平さん。ドイツのオーケストラとの初の日本ツアーとなるNDRとの共演について話を聞いた。



【ピアノ】Kyohei Sorita
反田恭平

Interview

©Yuji Ueno



©T.Tairadate

指揮 アラン・ギルバート

ブラームスは、直感的に理解できる作曲家
——ブラームスは反田さんにとってどんな存在ですか？
ここ数年、ブラームスが自分に合っていると感じて、真剣に取り組むようになりました。
それ以前、ブラームスは室内楽ばかりで、ソロ作品を演奏会で弾いたことはほとんどありませんでした。でもショパンコンクールの後、ワルシャワ留学中に師事していたピオトル・パレチニ先生のレッスンでブラームスのop.118を弾いたとき、「君のショパンもすばらしいけれど、ブラームスはそ

れ以上に大切な作曲家になると感じる」と言われたのです。実はパレチニ先生も、ご自身がショパンコンクールに入賞した後、ルービンシュタインの前でブラームスのop.117を弾いたら同じように言われたそうで、「50年後、自分の弟子に同じ言葉を言う日が来るとは思わなかった」とおっしゃっていました。
他にもブラームスが合うと言ってくださる方が多く、それも自信になって、作品のすばらしさをもっと知りたい気持ちが高まりました。
今年、ブラームスの交響曲第1番を指揮するのですが、譜読みしている、自分の人生に重なるものを感じる瞬間がたくさんあります。直感的に理解できる作曲家の一人です。

——ピアノ協奏曲第1番の魅力はどこに感じますか？
もともと短調の作品が好きで、2番よりも1番に魅力を感じます。短調の中に時々現れる長調がとくに好きなんです。讃美歌のような美しさがある2楽章など、弾いていると

れ以上に大切な作曲家になると感じる」と言われたのです。実はパレチニ先生も、ご自身がショパンコンクールに入賞した後、ルービンシュタインの前でブラームスのop.117を弾いたら同じように言われたそうで、「50年後、自分の弟子に同じ言葉を言う日が来るとは思わなかった」とおっしゃっていました。
他にもブラームスが合うと言ってくださる方が多く、それも自信になって、作品のすばらしさをもっと知りたい気持ちが高まりました。
今年、ブラームスの交響曲第1番を指揮するのですが、譜読みしている、自分の人生に重なるものを感じる瞬間がたくさんあります。直感的に理解できる作曲家の一人です。

正直、僕は人のために自分を犠牲にして損をすることが多いタイプ。困っている人がいたら見過ごせないし、気を遣ったり考えすぎたりして、結果的に遠回りしてしまうこともあるほうです。でも自分の中で「優しいさ」や「優しい音」を一つのキーワードとしていきたいのです。
僕にしかできない音楽や活動があると思うので、弾き振りや指揮者としての活動も重ねながら、80代、90代を迎えられたらと思います。長い目で見て、ずっと必要とされる音楽家になりたいですね。
(取材・文 高坂はる香)



Shionが贈る、吹奏楽による「変奏と変容」

2023年に創立100周年を迎え、さまざまな演奏会を企画するオオサカシオン・ウインド・オーケストラ。2023年11月25日(土)に開催の第151回定期演奏会は、2021年9月26日(日)の第138回定期演奏会での演奏が今も記憶に新しい齊藤一郎との再共演です。今回のプログラムは、全曲が別の原曲(主題)を持つ変奏曲を取り上げられます。「メタモルフォーシス」「ヴァリエーション」「ディフェレンシアス」と、曲名には変容や変奏という文字が並んでおり、吹奏楽の色彩感のあるパレットにはこのような変奏のスタイルがよく映えます。

パウル・ヒンデミットの『ウェーバーの主題による交響的変容』はこの演奏会唯一の管弦楽作品となりますが、ヒンデミット自身がその編曲

の監修を行い、吹奏楽編曲の作品となりました。ウェーバーの作品がヒンデミットによりその作風が現れる作品に移り変わります。吹奏楽では第4楽章の「行進曲」がよく演奏されますが、今回は全楽章を取り上げます。

続いて2曲目は、9月・10月にかけて行われるオオサカシオン・ウインド・オーケストラの特別演奏会「バーンズ・チクルス」4公演に引き続き、ジェイムズ・バーンズの作品『バガニーニの主題による幻想変奏曲』です。バガニーニの名前を知らずとも、その主題のメロディを聞いたことがあるという方も多いはず。吹奏楽を知り尽くしたバーンズによる、24曲にわたる変奏は見事というしありません。

3曲目は、齊藤と近年結びつきが強い作曲者の一人、伊藤康英の『古いスペインの歌によるディフェレンシアス』を、彼のエッセンスを心得ている齊藤の指揮でお贈りします。2022年に作曲されたこの作品は、16世紀の古いスペインのマリア讃歌を6つの変奏に仕立て上げました。同年の世界吹奏楽コンテストの課題曲として話題となった一曲です。

最後に演奏するのはボブ・マーゴリスの『テルプシコーレ』。吹奏楽の題材として取り上げられる機会が多い17世紀初頭の舞曲集「テルプシコーレ舞曲集」を吹奏楽編成に置

[指揮] 齊藤一郎
[吹奏楽] Osaka Shion Wind Orchestra

P.ヒンデミット/K.ワイルソン 編曲: ウェーバーの主題による交響的変容
J.バーンズ: バガニーニの主題による幻想変奏曲
伊藤康英: 古いスペインの歌によるディフェレンシアス
B.マーゴリス: テルプシコーレ

2023.11/25(土) 2:00PM
全席指定 S 5,000円 A 4,000円 B 3,000円(税込)

[お問い合わせ] Shionチケットセンター 0800-919-5508
[主催] 公益社団法人 大阪市音楽団

発売中

き換えた作品です。今回演奏するこの『テルプシコーレ』はリコーダーからパイプオルガンまで、数多くの楽器を用い、17世紀当時の小編成とはかけ離れた巨大編成となっています。ホール中に鳴り響く音楽は楽曲のスケールの大きさを表し、その壮大さに圧倒されることでしょう。

日本で最も長い歴史と伝統を誇る交響吹奏楽団《Shion》としてのこだわりの選曲、そしてオーケストラの持てる力を余すことなく引き出せる齊藤一郎のエネルギー、シユなタクトでお届けする第151回定期演奏会。目と耳で楽しめる楽器たちの競演をザ・シンフォニーホールでご覧ください。



2023年に生誕150周年を迎えるセルゲイ・ラフマニノフ

生誕150周年を祝して上原彩子がオール・ラフマニノフ・プログラム

20世紀前半を代表するピアノの名手であり、ピアノ曲だけでなく、交響曲や歌曲など、数多くの作品を残したセルゲイ・ラフマニノフ(1873~1943)の生誕150周年を祝して様々なコンサートが開かれているが、上原彩子のオール・ラフマニノフ・プログラムは、まさに待望のリサイタルである。

2002年のチャイコフスキー国際音楽コンクールで優勝してから20年以上が経つが、ロシア音楽はやはり彼女の中心的なレパートリーである。なかでもラフマニノフは、彼女のスケールの大きさ、天才的なひらめきが最もマッチする作曲家といえるだろう。昨年2月のデビュー20周年記念コンサートでも、

原田慶太楼&日本フィルとともにラフマニノフのピアノ協奏曲 第2番を奏で、美しい最弱音からオーケストラに負けない強音まで素晴らしいピアノズムを披露した。デビュー20周年で感じたのは、かつてより落ち着いた佇まいと演奏の精度の高さ。ピアノリストとしての研鑽を怠らず、その演奏に深みを増したことがとても印象に残った。今年7月29日のザ・シンフォニーホールでの「熱狂コンチェルト」では、演奏機会の少ない難曲、ラフマニノフのピアノ協奏曲 第4番を見事に奏で、満員の聴衆のスタンディングオベーションを引き起こしたばかりで記憶に新しい。

今回のリサイタルは、オール・ラフマニノフ・プログラムであり、膨大なラフマニノフのピアノ作品から主要曲が作品番号順に並べられ、上原の演奏を聴きながら、ラフマニノフの変遷をたどることができる。

まずは、初期の「幻想的小品集」。哀愁を帯びた「エレジー」で始まり、ラフマニノフの代名詞というべき「鐘」の音が響く、前奏曲「鐘」が弾かれる。ピアノ・ソナタ 第1番は約35分におよぶ大作。ゲーテの「ファウスト」を題材として作曲された3つの楽章からなる。上原にとってもチャレンジングな作品といえよう。

ピアノリストとしてのラフマニノフの魅力や技巧が表された「前奏曲集」からは6曲が演奏される。そし

[ピアノ] 上原彩子

《オール・ラフマニノフ・プログラム》

幻想的小品集: エレジー 変奏短調 op.3-1、前奏曲「鐘」嬰ハ短調 op.3-2、メロディ ホ長調 op.3-3、道化師 嬰ヘ短調 op.3-4、セレナード 変ロ短調 op.3-5 / ピアノ・ソナタ 第1番 二短調 op.28 / 前奏曲集: 変ロ短調 op.32-2、ヘ長調 op.32-6、ヘ長調 op.32-7、イ短調 op.32-8、イ長調 op.32-9、ロ短調 op.32-10 / ピアノ・ソナタ 第2番 変ロ短調 op.36

2023.11/23(木・祝) 2:00PM
全席指定 5,000円(税込)

[お問い合わせ] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333
[主催] ザ・シンフォニーホール

発売中

て最後はピアノ・ソナタ 第2番。彼女が若い頃からリサイタルのプログラムのメインとしてきた、彼女にとってまさに伝家の宝刀というべき作品である。

ラフマニノフの音楽が人々に好まれるのは、ロシアの哀愁とロマンティズム、そして旋律の美しさとピアノのヴィルトウオーズティ(名人芸)が見事に融合されているからであらう。ザ・シンフォニーホールへの出演が最も多いピアノリストの一人である上原彩子が愛するラフマニノフの作品で、彼女の超絶的な技巧と音楽的な深化を満喫することができる。

(文 山田治生)



仲道郁代

ショパンを弾く
〜円熟と哀しみ〜

**人気ピアニスト・仲道郁代で聴く
ショパンの「円熟と哀しみ」**

「円熟と哀しみ」。長らく第一線を走りつづけ、人気、実力ともに日本を代表するピアニストの仲道郁代。彼女が2024年1月21日にザ・シンフォニーホールで開催するリサイタルは、オール・ショパン・プログラム。このピアノの詩人の生涯を改めて俯瞰するような魅力的なテーマをかかげている。

ポーランドの楽聖ショパンの人生は、その名声とは裏腹につねに困難がつきまとった。早くから才能を認められた少年時代をへて、1830年、ワルシャワでの最後の演奏会の後、ウィーンへと旅立つ。だがロシアのポーランド侵攻という祖国の悲劇を知ったのは異国の地であった。以後決して故郷に帰ることのできない悲哀を味わい、いわばデラシネ（根無し草）として生きていくことを余儀なくされる。パリではピアニストとして、作曲家として名声を博したショパンだが、マリア・ヴォジンスカとの婚姻は、健康問題を理由に破棄されてしまう。傷心のショパンの前に現れたのは、男装の麗人の作家サンドだった。二人は恋に落ちるが、幸せはつかのま、周囲の好奇の眼、ショパンの病氣などが立ちほだかり、やがて別れが訪れる。そして1849年のショパンの死。生前から望郷の思いに駆られたショパンだったが、ワルシャワの地

を踏むことができたのは、その心臓だけだった。数々の名旋律を生み、ピアノ音楽を円熟の極みまで高めたショパンだが、その調べには美しさとともに哀愁にもじむ。

これまでさまざまなテーマでリサイタルを行い、名曲を斬新な切り口で聴かせてきた仲道。ショパンの作品を通じて、彼の音楽家として豊かな魅力と哀愁にみちたその生涯をうかがいあがらせることだろう。

プログラムはショパンの核心に迫るような作品から、小品まで多彩だ。まず誰もが聴くだけで心を鼓舞されるポロネーズ第6番 変イ長調「英雄」。ショパン円熟期の名作である。そして愛らしい小品のワルツ第6番 変ニ長調、通称「小犬のワルツ」。ショパンとサンドには愛犬がいたのはよく知られている。ポーランドの民族舞曲であるマズルカも取り上げられるが、遺作のマズルカへ短調は、サンドとの破局後、最晩年に書かれたとされる厳肅な作風だ。

演奏家としての華やかな存在感、そして学究的な緻密さにも裏打ちされた仲道のコンサートには、長年通いつめる熱心なファンの姿を数多く見かける。関西の仲道ファンも、初めて彼女のピアノを聴くという音楽ファンも、その磨き抜かれた至芸を通じて、ショパンのドラマティックな世界をより深く味わえる機会となろう。

(文 伊藤制子)

[ピアノ] 仲道郁代

《オール・ショパン・プログラム》

ポロネーズ 第6番 変イ長調「英雄」 op.53 / ワルツ 第6番 変ニ長調「小犬」 op.64-1
バラード 第3番 変イ長調 op.47 / バラード 第4番 へ短調 op.52 / マズルカ op.59より
マズルカ op.68-4 へ短調 (遺作) / ポロネーズ 第7番「幻想」 変イ長調 op.61 ほか

2024.1/21 (日) 2:00PM

全席指定 4,500円(税込)

[お問い合わせ] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催] ザ・シンフォニーホール

発売中

Message

「自分が死んだら、身体から心臓を取り出して、

ポーランドの土に埋めてほしい」

そう言い遺して亡くなったショパン。まだ若き39歳でした。

二十歳の時に故郷を離れ、二度と戻ることができなかったショパン。

遙かなる故郷、人々への郷愁と、

戻れなかった、戻らなかった自身への忪怩たる気持ちの交錯。

彼の晩年の想いを弾いていきたいと思います。

仲道郁代



古澤 巖

Isao Furusawa × Philharmonic Strings Berlin

ベルリン・フィルハーモニック
Strings ~愛のクリスマス2023~



弦楽アンサンブル
ベルリン・フィルハーモニック・Strings

「J E T S T R E A M」では、競技ダンスと共演。FM「J E T S T R E A M」では、テーマ曲をベルリン・フィル・メンバーと演奏している。昨年には俳優の山本耕史を迎えて音楽と歌、語りを楽しむ「Dandyism Banquet」(ダンディズム・Banquet)を始めた。新感覚のエンターテインメントへの挑戦が続いている。

その活動を支えるのが、ヴァイオリンの名器ストラディヴァリウスだ。愛用しているのは、1718年につくられた「サン・ロレンツォ」。アントニオ・ストラディヴァリウス本人の署名が残し、マリー・アントワネットがその音色に聞き惚れたといわれる。この時代にイタリア・クレモナの工房でつくられたストラディヴァリウスは約600挺が現存するが、現代の名工でも再現できない音色を持つ。ヴァイオリン奏者として、格別な技巧、能力を持つヴィルトゥオーソ・タイプの古澤が名器とともに生みだす、こだわりの音色、響きを楽しみたい。

共演の「ベルリン・フィルハーモニック・Strings」は、名門ベルリン・フィルに所属する弦楽器奏者ら5人で構成する。技量のすばらしさ以外にこのオケの特徴を挙げるとすれば国際性だろう。コンサートマスターの榎本大進をはじめ、異なる文化的背景を持つ各国選り

[ヴァイオリン] 古澤 巖

[弦楽アンサンブル] ベルリン・フィルハーモニック Strings

サラサーテ：ツイゴイネルワイゼン

ヴィヴァルディ：ヴァイオリン協奏曲集《四季》より「冬」

ロベルト・ディ・マリーノ：コンチェルト 第8番 / ドビュッシー：小組曲

2023.12/12 (火) 6:30PM

S 8,000円 A 6,500円 U25 2,500円(税込)

[お問い合わせ] キョードーインフォメーション 0570-200-888

[主催] NHKエンタープライズ / ザ・シンフォニーホール / ジェイ・ツー

発売中

すぐりのメンバーで構成する。高い適応力を持ち、今の時代に求められる「音楽的に多言語を話すオケ」(バレンボイム)の筆頭格だ。

今回のプログラムでは、哀愁感漂うロマ音楽の特徴を持つ名曲ツイゴイネルワイゼン、古澤の盟友マリーノの新作協奏曲、ヴィヴァルディの「四季」から「冬」、そしてドビュッシーの「小組曲」などを取り上げる。スペイン、イタリア、フランス、そしてバロックから民族音楽、現代作曲家の音楽まで。聴衆はクリスマス気分とともに、時代と空間を超えた音楽旅行を味わえるに違いない。

(文 石合カール朝日新聞編集委員)

TheSymphonyHall × 関西4オケ *Pick Up* コンサート

大阪フィルハーモニー交響楽団

ザ・シンフォニーホール特別演奏会 メンデルスゾーン・チクルスⅢ～メンデルスゾーンへの旅～



管弦楽 大阪フィルハーモニー交響楽団



指揮 尾高忠明

© Martin Richardson



ピアノ 河村尚子

© Marco Borggreve

[指揮]尾高忠明 [ピアノ]河村尚子
[管弦楽]大阪フィルハーモニー交響楽団
《オール・メンデルスゾーン・プログラム》
序曲「フィンガルの洞窟」op.26
ピアノ協奏曲 第2番 二短調 op.40
交響曲 第3番 イ短調 op.56「スコットランド」

2023.11/9(木) 7:00PM
全席指定 A 5,000円 B 4,000円 C 3,000円

[お問い合わせ]大阪フィル・チケットセンター 06-6656-4890
[主催] (社)大阪フィルハーモニー協会／ザ・シンフォニーホール

発売中

尾高忠明×大阪フィルによる「メンデルスゾーン・チクルス」第3回は、傑作「フィンガルの洞窟」とスコットランド交響曲。どちらもメンデルスゾーンが最も愛した地であるスコットランドにインスパイアされて書かれた作品です。長きにわたる英国生活を経験した尾高にとってもスコットランドはなじみ深い場所。実際に「フィンガルの洞窟」を訪れた際には、その自然の造り出した力強い光景に感銘を受けたそうです。コンチエルトはまもなくデビュー20周年、常に期待を裏切らない充実した演奏を重ねるピアニスト河村尚子をソリストに迎えます。

大阪交響楽団

第129回 名曲コンサート 「モーツァルト・ア・ラ・カルト」



ソプラノ 中川郁文

© Masaaki Hiraga



アルト 山際きみ佳



テノール 渡辺 康



バス 田中大揮



指揮 柴田真郁

© T.Tairadate

[指揮]柴田真郁 [ソプラノ]中川郁文 [アルト]山際きみ佳
[テノール]渡辺 康 [バス]田中大揮 [管弦楽]大阪交響楽団
[合唱]大阪響コーラス(合唱指揮:中村貴志)
ミヒャエル・ハイドン:交響曲 第39番 ハ長調 P.31.MH478
モーツァルト:交響曲 第25番 ト短調 K.183(173db)
モーツァルト:死者のためのミサ曲「レクイエム」二短調 K.626(レヴィン版)

2023.11/11(土) [昼の部] 1:30PM [夜の部] 5:00PM
全席指定 S 3,500円 A 3,000円 B 1,500円 (楽団WEB前売限定)

[お問い合わせ]大阪交響楽団チケットセンター 072-226-5522
[主催]公益社団法人 大阪交響楽団 [特別協賛]大和ハウス工業株式会社

発売中

ミュージックパートナー・柴田真郁ならではの異彩を放つプログラム。モーツァルトの「宿命の調性」と呼ばれるト短調の交響曲第25番と、デモニッシュな調性とも形容される二短調のレクイエム——本公演で使用するのは現代アメリカの音楽学者ロバート・レヴィンによる補筆完成版です。第8曲「ラクリモーサ(涙の日)」に続く形で補筆された壮大なアーメン・フーガなど、大いなる感興を呼び起こすに違いありません。そしてモーツァルト最後の交響曲「ジュピター」へ影響を与えたとされるミヒャエル・ハイドン(ヨーゼフ・ハイドンの弟)の交響曲第39番もどうぞお楽しみに！

日本センチュリー交響楽団

第277回定期演奏会



指揮 秋山和慶

チェロ アントニオ・メネセス



ヴァイオラ 須田祥子

© 平野晋子

[指揮]秋山和慶 [チェロ]アントニオ・メネセス
[ヴァイオラ]須田祥子 [管弦楽]日本センチュリー交響楽団
ベートーヴェン:交響曲 第4番 変ロ長調 op.60
R.シュトラウス:交響詩「ドン・キホーテ」op.35

2023.11/24(金) 7:00PM
全席指定 A 6,500円 B 5,000円 C 3,500円 D 1,500円

[お問い合わせ]センチュリー・チケットサービス 06-6848-3311
[主催]公益財団法人 日本センチュリー交響楽団

発売中



© Masaharu Eguichi

管弦楽 日本センチュリー交響楽団

秋山和慶ミュージックアドバイザーが誘う極上のコンサートのお目見えです。
ベートーヴェンの交響曲「第4番」は、傑作の森々と呼ばれる時期に生まれた、幸せな温もりと力強さに溢れた珠玉のシンフォニーです。後半はブラジル出身チェロの世界的名手、アントニオ・メネセスがセンチュリーと8年ぶりに共演！首席客演ヴァイオラ奏者の須田祥子とともに、R.シュトラウスの大作「ドン・キホーテ」に挑みます。深まる秋、チェロ(ドン・キホーテ)とヴァイオラ(サンチョ・パンサ)、そしてオーケストラの大活躍にご期待ください！

関西フィルハーモニー管弦楽団

鈴木優人 首席客演指揮者 就任披露記念演奏会

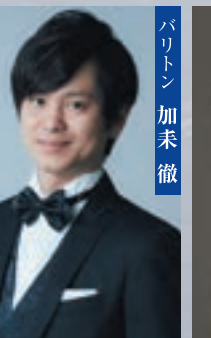


ソプラノ 森 麻季

© Yuji Hori



テノール 鈴木 准



バリトン 加未 徹



指揮 鈴木優人

© Marco Borggreve



© syamamoto

管弦楽 関西フィルハーモニー管弦楽団

[指揮]鈴木優人 [ソプラノ]森 麻季 [テノール]鈴木 准
[バリトン]加未 徹 [管弦楽]関西フィルハーモニー管弦楽団
ラモー(鈴木優人編):「優雅なインドの国々」組曲
ストラヴィンスキー:「フルチネルラ」(全曲版)
ブラームス:交響曲第1番 ハ短調 op.68

2023.10/20(金) 7:00PM
全席指定 S 6,500円 A 5,000円 B 3,500円 C 2,500円
学生席(25歳以下) 1,000円 ※学生席は関西フィル事務局のみ取扱い

[お問い合わせ]関西フィルハーモニー管弦楽団 06-6115-9911
[主催]公益財団法人 関西フィルハーモニー管弦楽団
[特別協賛]タイキン工業株式会社 [協賛]NTT西日本

発売中

関西フィルの皆さんとの共演は、これまでに三度。第302回定期(2019年6月。黛、矢代、芥川の3人が並んだ「ツボン・プログラム」が初共演でした。二度目は、第311回定期(2020年6月)。この日は、奇しくもコロナ禍において初めて聴衆をお迎えした忘れ難いコンサートとなりました。直近の三度目は、ブラームスを特集した第325回定期(2022年2月)。歌心が存分に発揮された美しい公演になりました。これまでの三度の音楽的実りに改めて感謝するとともに、今後とも定期的な交流を持てることにワクワクしております。今回の記念公演と12月の「第九」で、皆様とお会いできることを心より願っております。(鈴木優人)